

REST API を使用してタスクを実行する

• Part I: レイヤ3の設定 (1ページ)

• パートII:外部ルーティング (L3Out) の設定 (26ページ)

Part I: レイヤ3の設定

REST API を使用した共通パーベイシブ ゲートウェイの設定

REST API を使用した共通パーベイシブ ゲートウェイの設定

始める前に

• テナント、VRF、およびブリッジドメインが作成されていること。

共通パーベイシブ ゲートウェイを設定します。

次の REST API XML の例では、太字のテキストは一般的なパーベイシブ ゲートウェイの設定に関連しています。

REST API を使用した IP エージングの設定

REST API を使用した IP エージングの設定

このセクションでは、REST API を使用した IP エージング ポリシーを有効および無効にする方法を説明します。

ステップ1 IP エージング ポリシーを有効にするには:

例·

<epIpAgingP adminSt="enabled" descr="" dn="uni/infra/ipAgingP-default" name="default" ownerKey=""
ownerTag=""/>

ステップ2 IP エージング ポリシーを無効にするには:

例:

<epIpAgingP adminSt="disabled" descr="" dn="uni/infra/ipAgingP-default" name="default" ownerKey=""
 ownerTag=""/>

次のタスク

エンドポイントの IP アドレスをトラッキングするために使用される間隔を指定するには、次の例のように XML で post を送信することによって、エンドポイント保持ポリシーを作成します

<freepRetPol bounceAgeIntvl="630" bounceTrig="protocol" holdIntvl="350" lcOwn="local" localEpAgeIntvl="900" moveFreq="256" name="EndpointPol1" remoteEpAgeIntvl="350"/>

REST API を使用したブリッジ ドメインのスタティック ルートの設定

REST API を使用してブリッジ ドメインでのスタティック ルートの設定

• スタティック ルートのサブネットを作成するには、epg (fvAEPg で fvSubnet オブジェクト)、普及 BD (fvBD) 自体 BD しないに関連付けられているように構成されます。

• サブネットマスクが/32 にする必要があります (128/for IPv6) 1 つの IP アドレスまたは 1 つのエンドポイントをポイントします。これは、パーベイシブ BD に関連付けられている EPG に含まれます。

始める前に

テナント、VRF、BD、および EPG が作成されています。

普及ゲートウェイで使用される BD のスタティック ルートを設定するには、次の例など post を入力します。

例:

REST API を使用した IPv6 ネイバー 探索の設定

REST API を使用したブリッジ ドメインの IPv6 ネイバー探索対応のテナント、VRF、およびブリッジ ドメインの作成

ネイバー探索インターフェイス ポリシーとネイバー探索プレフィックス ポリシーが適用された、テナント、VRF、ブリッジ ドメインを作成します。

```
<frvTenant descr="" dn="uni/tn-ExampleCorp" name="ExampleCorp" ownerKey="" ownerTag="">
   <ndIfPol name="NDPol001" ctrl="managed-cfg" descr="" hopLimit="64" mtu="1500" nsIntvl="1000"
nsRetries="3" ownerKey="" ownerTag="" raIntvl="600" raLifetime="1800" reachableTime="0"
retransTimer="0"/>
   <fvCtx descr="" knwMcastAct="permit" name="pvn1" ownerKey="" ownerTag="" pcEnfPref="enforced">
   <fvBD arpFlood="no" descr="" mac="00:22:BD:F8:19:FF" multiDstPktAct="bd-flood" name="bd1"
ownerKey="" ownerTag="" unicastRoute="yes" unkMacUcastAct="proxy" unkMcastAct="flood">
        <fvRsBDToNdP tnNdIfPolName="NDPol001"/>
        <fvRsCtx tnFvCtxName="pvn1"/>
        <fvSubnet ctrl="nd" descr="" ip="34::1/64" name="" preferred="no" scope="private">
            <fvRsNdPfxPol tnNdPfxPolName="NDPfxPol001"/>
        <fvSubnet ctrl="nd" descr="" ip="33::1/64" name="" preferred="no" scope="private">
            <fvRsNdPfxPol tnNdPfxPolName="NDPfxPol002"/>
        </fvSubnet>
   </fvBD>
   <ndPfxPol ctrl="auto-cfg,on-link" descr="" lifetime="1000" name="NDPfxPol001" ownerKey=""
```

```
ownerTag="" prefLifetime="1000"/>
     <ndPfxPol ctrl="auto-cfg,on-link" descr="" lifetime="4294967295" name="NDPfxPol002" ownerKey=""
   ownerTag="" prefLifetime="4294967295"/>
</fvTenant>
```

(注) 外部ルーテッドを設定するときにパブリックサブネットがある場合は、ブリッジドメインを外部 設定と関連付ける必要があります。

REST API を使用したレイヤ3インターフェイス上のRAによるIPv6ネイバー探索インターフェイス ポリシーの設定

IPv6 ネイバー検索インターフェイス ポリシーを設定し、レイヤ 3 インターフェイスに関連付けます。 次の例では、非 VPC セットアップの設定が表示されます。

```
<fvTenant dn="uni/tn-ExampleCorp" name="ExampleCorp">
 <ndIfPol name="NDPol001" ctrl="managed-cfg" hopLimit="64" mtu="1500" nsIntvl="1000" nsRetries="3"
raIntvl="600" raLifetime="1800" reachableTime="0" retransTimer="0"/>
 <fvCtx name="pvn1" pcEnfPref="enforced">
                    </fvCtx>
 <13extOut enforceRtctrl="export" name="13extOut001">
   <13extRsEctx tnFvCtxName="pvn1"/>
   <13extLNodeP name="lnodeP001">
     <13extRsNodeL3OutAtt rtrId="11.11.205.1" rtrIdLoopBack="yes" tDn="topology/pod-2/node-2011"/>
      <13extLIfP name="lifP001">
        <13extRsPathL3OutAtt addr="2001:20:21:22::2/64" ifInstT="13-port" llAddr="::"
mac="00:22:BD:F8:19:FF" mode="regular" mtu="inherit" tDn="topology/pod-2/paths-2011/pathep-[eth1/1]">
          <ndPfxP>
            <ndRsPfxPToNdPfxPol tnNdPfxPolName="NDPfxPol001"/>
          </ndPfxP>
        </l3extRsPathL3OutAtt>
       <l3extRsNdIfPol tnNdIfPolName="NDPol001"/>
      </l3extLIfP>
   </l3extLNodeP>
   <13extInstP name="instp"/>
 <ndPfxPol ctrl="auto-cfg,on-link" descr="" lifetime="1000" name="NDPfxPol001" ownerKey="" ownerTag=""
prefLifetime="1000"/>
</fvTenant>
```

(注) VPC ポートについては、ndPfxP が l3extRsNodeL3OutAtt ではなく l3extMember の子である必要があります。次のコードスニペットは、VPC のセットアップでの設定を示します。

```
<13extLNodeP name="lnodeP001">
<13extRsNodeL3OutAtt rtrId="11.11.205.1" rtrIdLoopBack="yes" tDn="topology/pod-2/node-2011"/>
<13extRsNodeL3OutAtt rtrId="12.12.205.1" rtrIdLoopBack="yes" tDn="topology/pod-2/node-2012"/>
  <l3extLIfP name="lifP002">
    <13extRsPathL3OutAtt addr="0.0.0.0" encap="vlan-205" ifInstT="ext-svi" llAddr="::"
mac="00:22:BD:F8:19:FF" mode="regular" mtu="inherit"
\label{eq:decomposition} $$tDn="topology/pod-2/protpaths-2011-2012/pathep-[vpc7]">$
      <13extMember addr="2001:20:25:1::1/64" descr="" llAddr="::" name="" nameAlias=""
side="A">
        <ndPfxP >
          <ndRsPfxPToNdPfxPol tnNdPfxPolName="NDPfxPol001"/>
        </ndPfxP>
      </l3extMember>
      <13extMember addr="2001:20:25:1::2/64" descr="" 11Addr="::" name="" nameAlias=""
side="B">
        <ndPfxP >
          <ndRsPfxPToNdPfxPol tnNdPfxPolName="NDPfxPol001"/>
        </ndPfxP>
      13extMember>
    </l3extRsPathL3OutAtt>
    <13extRsNdIfPol tnNdIfPolName="NDPol001"/>
                                                  </13extIJTfP>
   </l></l></l></l></l><
```

REST API を使用したネイバー探索重複アドレス検出の設定

ステップ1 サブネットの ipv6Dad エントリの値を **disabled** に変更することによって、サブネットのネイバー探索重複アドレス検出プロセスを無効にします。

次の例は、2001:DB8:A::11/64 サブネットのネイバー探索重複アドレス検出エントリを disabled に設定する 方法を示しています:

(注) 次の REST API の例では、読みやすくなるように、長い行を\文字で分割しています。

ステップ2 リーフ スイッチで show ipv6 int コマンドを入力して、設定がリーフ スイッチに正しくプッシュされたか 確認してください。例:

```
swtb23-leaf5# show ipv6 int vrf icmpv6:v1
IPv6 Interface Status for VRF "icmpv6:v1"(9)

vlan2, Interface status: protocol-up/link-up/admin-up, iod: 73
if_mode: ext
    IPv6 address:
        2001:DB8:A::2/64 [VALID] [PREFERRED]
        2001:DB8:A::11/64 [VALID] [dad-disabled]
    IPv6 subnet: 2001:DB8:A::/64
    IPv6 link-local address: fe80::863d:c6ff:fe9f:eb8b/10 (Default) [VALID]
```

REST API を使用した Microsoft NLB の設定

REST API を使用したユニキャスト モードでの Microsoft NLB の設定

Microsoft NLB をユニキャスト モードで設定するには、次の例のように XML で POST を送信します。

例:

```
https://apic-ip-address/api/node/mo/uni/.xml
<polUni>
    <fre><fvTenant name="tn2" >
        <fvCtx name="ctx1"/>
        <fvBD name="bd2">
            <fvRsCtx tnFvCtxName="ctx1" />
        </fvBD>
        <fvAp name = "ap1">
            <fra>fvAEPg name = "ep1">
                <fvRsBd tnFvBDName = "bd2"/>
                <frvSubnet ip="10.0.1.1/32" scope="public" ctrl="no-default-gateway">
                    <fvEpNlb mac="12:21:21:35" mode="mode-uc"/>
                </fvSubnet>
            </fvAEPg>
        </fvAp>
    </fvTenant>
</polUni>
```

REST API を使用したマルチキャスト モードでの Microsoft NLB の設定

Microsoft NLB をマルチキャスト モードで設定するには、次の例のように XML で POST を送信します。

```
https://apic-ip-address/api/node/mo/uni/.xml
<polUni>
    <fre><fvTenant name="tn2" >
        <fvCtx name="ctx1"/>
        <fvBD name="bd2">
            <fvRsCtx tnFvCtxName="ctx1" />
        </fvBD>
        <fvAp name = "ap1">
            <fra>fvAEPg name = "ep1">
                <fvRsBd tnFvBDName = "bd2"/>
                <fvSubnet ip="2001:0db8:85a3:0000:0000:8a2e:0370:7344/128" scope="public"
ctrl="no-default-gateway">
                    <fvEpNlb mac="03:21:21:35" mode="mode-mcast--static"/>
                <fvRsPathAtt tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/6]" encap="vlan-911" >
                    <fvNlbStaticGroup mac = "03:21:21:35" />
                </fvRsPathAtt>
            </fvAEPg>
        </fvAp>
    </fvTenant>
</polUni>
```

REST API を使用した IGMP モードでの Microsoft NLB の設定

Microsoft NLB を IGMP モードで設定するには、次の例のように XML で POST を送信します。

```
https://apic-ip-address/api/node/mo/uni/.xml
<polUni>
    <fre><fvTenant name="tn2" >
        <fvCtx name="ctx1"/>
        <fvBD name="bd2">
            <fvRsCtx tnFvCtxName="ctx1" />
        </fvBD>
        <fvAp name = "ap1">
            <fra>fvAEPg name = "ep1">
                <fvRsBd tnFvBDName = "bd2"/>
                <fvSubnet ip="10.0.1.3/32" scope="public" ctrl="no-default-gateway">
                    <fvEpNlb group ="224.132.18.17" mode="mode-mcast-igmp" />
                </fvSubnet>
            </fvAEPq>
        </fvAp>
    </fvTenant>
</polUni>
```

REST API を使用した IGMP スヌーピングの設定

REST API を使用したブリッジドメインへの IGMP スヌーピング ポリシーの設定と割り当て

手順の概要

1. IGMP スヌーピング ポリシーを設定してブリッジ ドメインに割り当てるには、次の例のように XML で POST を送信します。

手順の詳細

IGMP スヌーピング ポリシーを設定してブリッジ ドメインに割り当てるには、次の例のように XML で POST を送信します。

例:

```
https://apic-ip-address/api/node/mo/uni/.xml
<fre><fvTenant name="mcast_tenant1">
<!-- Create an IGMP snooping template, and provide the options -->
<igmpSnoopPol name="igmp snp bd 21"</pre>
ver="v2"
adminSt="enabled"
lastMbrIntvl="1"
queryIntvl="125"
rspIntvl="10"
startQueryCnt="2"
startQueryIntvl="31"
<frctx name="ip_video"/>
<fvBD name="bd 21">
<fvRsCtx tnFvCtxName="ip video"/>
<!-- Bind IGMP snooping to a BD -->
<fvRsIgmpsn tnIgmpSnoopPolName="igmp_snp_bd_21"/>
</fvBD></fvTenant>
```

この例では、次のプロパティでIGMPスヌーピングポリシー、igmp_snp_bd_12を作成および設定し、IGNPポリシー、igmp_snp_bd_12をブリッジドメイン bd_21 にバインドします。

- 管理状態が有効です。
- 最後のメンバクエリ間隔は、デフォルトでは、1秒です。
- クエリ間隔は、デフォルトでは125です。
- クエリの応答間隔はデフォルトでは10秒です。
- クエリの開始カウントは、デフォルトでは2メッセージです。
- ・クエリの開始間隔は31秒です。
- クエリア バージョンを v2 に設定する。

REST API を使用した静的ポートでの IGMP スヌーピングとマルチキャストの有効化

EPG に静的に割り当てられているポートで、IGMP スヌーピングおよびマルチキャスト処理を有効にできます。それらのポートで有効なIGMP スヌープおよびマルチキャストトラフィックへのアクセスを許可または拒否するアクセスユーザーのグループを作成および割り当てることができます。

手順の概要

1. スタティック ポートでアプリケーション EPG を設定するには、それらのポートを IGMP スヌーピングおよびマルチキャストトラフィックを受信し処理するように有効にして、グループをアクセスに割り当てるかトラフィックへのアクセスを拒否するように割り当て、次の例のように XML で POST を送信します。

手順の詳細

スタティックポートでアプリケーションEPGを設定するには、それらのポートをIGMPスヌーピングおよびマルチキャストトラフィックを受信し処理するように有効にして、グループをアクセスに割り当てるかトラフィックへのアクセスを拒否するように割り当て、次の例のように XML で POST を送信します。

次の例では、IGMP スヌーピングが VLAN 202 上の leaf 102 インターフェイス 1/10 で有効になっています。マルチキャスト IP アドレス 224.1.1.1 および 225.1.1. がこのポートに関連付けられます。

例:

IGMP スヌーピングを REST API を使用するマルチ キャスト グループのアクセスを有効化

IGMP を有効にした後にスヌーピングおよび、EPG に静的に割り当てられているポートでマルチキャストすることができますし、作成を許可またはIGMP スヌーピングへのアクセスを拒否するユーザのアクセスのグループを割り当てるおよびマルチキャストトラフィックは、これらのポートで有効になっています。

アクセスグループを定義する F23broker 、送信 XML で post このような次の例のよ。

例は、設定アクセスグループ F23broker tenant_A、Rmap_A、application_A、リーフ 102、1/10、インターフェイス VLAN 202 で、epg_A に関連付けられている。Rmap_A、アクセスグループとの関連付けによって F23broker マルチキャスト アドレス 226.1.1.1/24 で受信したマルチキャスト トラフィックへのアクセスがあり、マルチキャスト アドレス 227.1.1.1/24 で受信したトラフィックへのアクセスは拒否されます。

例:

<!-- api/node/mo/uni/.xml --> <fvTenant name="tenant_A"> <pimRouteMapPol name="Rmap_A"> <pimRouteMapEntry action="permit" grp="226.1.1.1/24" order="10"/> <pimRouteMapEntry action="deny" grp="227.1.1.1/24" order="20"/> </pimRouteMapPol> <fvAp name="application_A"> <fvAEPg name="epg_A"> <fvRsPathAtt encap="vlan-202" instrImedcy="immediate" mode="regular" tDn="topology/pod-1/paths-102/pathep-[eth1/10]"> <!-- IGMP snooping access group case --> <igmpSnoopAccessGroup name="F23broker"> <igmpRsSnoopAccessGroupFilterRMap tnPimRouteMapPolName="Rmap_A"/> </igmpSnoopAccessGroup> </fvRsPathAtt> </fvAEPg> </fvAp> </fvTenant>

REST API を使用した MLD スヌーピングの設定

REST API を使用した MLD スヌーピング ポリシーの設定とブリッジ ドメインへの割り当て

MLD スヌーピング ポリシーを設定してブリッジ ドメインに割り当てるには、次の例のように XML で POST を送信します。

例·

この例では、MLD スヌーピング ポリシー [mldsn] を作成して次のプロパティを設定し、MLD ポリシー [mldsn-it-fabric-querier-policy] をブリッジ ドメイン [mldsn-bd3] にバインドします。

- 高速脱退処理が有効になっています
- クエリア処理が有効になっています
- クエリ間隔は 125 に設定されています
- 最大クエリ レスポンス タイムは 10 に設定されています
- 送信する初期クエリの数は2に設定されます
- ・初期クエリの送信時間は31に設定されます

REST API を使用した IP マルチキャストの設定

REST API を使用したレイヤ3マルチキャストの設定

ステップ1 テナントと VRF を設定し、VRF のマルチキャストを有効にします。

```
何I ·
```

ステップ2 L3 アウトを設定し、L3 アウト上のマルチキャスト (PIM、IGMP) を有効にします。

例:

```
<l3extOut enforceRtctrl="export" name="13out-pim 13out1">
       <13extRsEctx tnFvCtxName="ctx1"/>
       <13extLNodeP configIssues="" name="bLeaf-CTX1-101">
        <13extRsNodeL3OutAtt rtrId="200.0.0.1" rtrIdLoopBack="yes" tDn="topology/pod-1/node-101"/>
         <13extLIfP name="if-PIM Tenant-CTX1" tag="yellow-green">
           <igmpIfP/>
           <pinTfP>
             <pimRsIfPol tDn="uni/tn-PIM Tenant/pimifpol-pim pol1"/>
           </pimIfP>
           <13extRsPathL3OutAtt addr="131.1.1.1/24" ifInstT="13-port" mode="regular" mtu="1500"
tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/46]"/>
        </l3extLIfP>
       </l></l></l></l></l><
       <l3extRsL3DomAtt tDn="uni/13dom-13outDom"/>
      <l3extInstP name="l3out-PIM Tenant-CTX1-1topo" >
       </l3extInstP>
       <pimExtP enabledAf="ipv4-mcast" name="pim"/>
     </l3extOut>
```

ステップ3 テナントで BD を設定して、BD のマルチキャストおよび IGMP を有効にします。

例:

ステップ4 IGMP ポリシーを設定し、それを BD に割り当てます。

ステップ5 VRF のルートマップ、PIM、および RP ポリシーを設定します。

(注) REST API を使用してファブリック RP を設定する場合、最初にスタティック RP を設定します。

例:

スタティック RP を設定しています:

```
<fre><fvTenant dn="uni/tn-PIM Tenant" name="PIM Tenant">
    <pimRouteMapPol name="rootMap">
     </pimRouteMapPol>
    <fvCtx knwMcastAct="permit" name="ctx1">
      <pimCtxP ctrl="" mtu="1500">
       <pimStaticRPPol>
         <pimStaticRPEntryPol rpIp="131.1.1.2">
           <pimRPGrpRangePol>
             <rtdmcRsFilterToRtMapPol tDn="uni/tn-PIM Tenant/rtmap-rootMap"/>
           </pimStaticRPEntryPol>
       </pimStaticRPPol>
      </pimCtxP>
  </fvCtx>
</fvTenant>
ファブリック RP を設定しています:
<frvTenant name="t0">
          <pimRouteMapPol name="fabricrp-rtmap">
             <pimRouteMapEntry grp="226.20.0.0/24" order="1"</pre>
          <fvCtx name="ctx1">
       <pimCtxP ctrl="">
             <pimFabricRPPol status="">
                <pimStaticRPEntryPol rpIp="6.6.6.6">
                    <pimRPGrpRangePol>
                      <rtdmcRsFilterToRtMapPol tDn="uni/tn-t0/rtmap-fabricrp-rtmap" />
                    </pimRPGrpRangePol>
                </pimStaticRPEntryPol>
             </pimFabricRPPol>
          </pimCtxP>
 </fvCtx>
</fvTenant>
```

ステップ6 PIM インターフェイス ポリシーを設定し、それを L3 アウトに適用します。

```
<fvTenant dn="uni/tn-PIM_Tenant" name="PIM_Tenant">
    <pimIfPol authKey="" authT="none" ctrl="" drDelay="60" drPrio="1" helloItvl="30000" itvl="60"
    name="pim_pol1"/>
    <13extCout enforceRtctrl="export" name="l3out-pim_l3out1" targetDscp="unspecified">
        <13extRsEctx tnFvCtxName="ctx1"/>
```

ステップ7 Inter-VRF マルチキャストを設定します。

例:

```
<fvTenant name="t0">
          <pimRouteMapPol name="intervrf" status="">
             <pimRouteMapEntry grp="225.0.0.0/24" order="1" status=""/>
             <pimRouteMapEntry grp="226.0.0.0/24" order="2" status=""/>
             <pimRouteMapEntry grp="228.0.0.0/24" order="3" status="deleted"/>
          </pimRouteMapPol>
       <fvCtx name="ctx1">
          <pimCtxP ctrl="">
             <pimInterVRFPol status="">
                <rtdmcRsFilterToRtMapPol tDn="uni/tn-t0/rtmap-intervrf" />
                 </pimInterVRFEntryPol>
             </pimInterVRFPol>
          </pimCtxP>
       </fvCtx>
</fvTenant>
```

REST API を使用したレイヤ 3 IPv6 マルチキャストの設定

始める前に

- 目的のVRF、ブリッジドメイン、IPv6アドレスを持つレイヤ3Outインターフェイスは、 PIM6が有効になるように設定する必要があります。レイヤ3Outの場合、IPv6マルチキャストが機能するために、論理ノードプロファイルのノードにIPv6ループバックアドレスが設定されます。
- 基本的なユニキャストネットワークを設定する必要があります。

ステップ1 VRFで PIM6 を有効にします。

例:

```
<frvTenant name="t0">
  <fvCtx name="ctx1" pcEnfPref="unenforced" >
        <pimIPV6CtxP ctrl="" mtu="1500" />
        </fvCtx>
  </fvTenant>
```

ステップ2 レイヤ3 Out で PIM6 を有効にします。

例:

```
<fvTenant dn="uni/tn-t0" name="t0">
  <13extOut enforceRtctrl="export" name="bl_l3out_1">
        <pimExtP enabledAf="ipv6-mcast" name="pim"/>
        </13extOut>
  </fvTenant>
```

ステップ3 BDでPIM6を有効にします。

例:

ステップ4 スタティック ランデブー ポイントの設定

例:

```
<fvTenant name="t0">
  <pimRouteMapPol dn="uni/tn-t0/rtmap-static 101 ipv6" name="static 101 ipv6">
    <pimRouteMapEntry action="permit" grp="ff00::/8" order="1" rp="2001:0:2001:2001:1:1:1:1/128"</pre>
src="::"/>
  </pimRouteMapPol>
  <fvCtx name="ctx1" pcEnfPref="unenforced">
    <pimIPV6CtxP ctrl="" mtu="1500">
      <pimStaticRPPol>
        <pimStaticRPEntryPol rpIp="2001:0:2001:2001:1:1:1:1">
          <pimRPGrpRangePol>
            <rtdmcRsFilterToRtMapPol tDn="uni/tn-t0/rtmap-static_101_ipv6"/>
          </pimRPGrpRangePol>
        </pimStaticRPEntryPol>
      </pimStaticRPPol>
    </pimIPV6CtxP>
  </fvCtx>
</fvTenant>
```

ステップ5 PIM6 インターフェイス ポリシーを設定し、レイヤ 3 Out に適用します。

PIM6 を使用したレイヤ 3 IPv6 マルチキャストが有効になります。

REST API を使用したマルチキャスト フィルタリングの設定

ブリッジドメインレベルでマルチキャストフィルタリングを設定します。このトピックの手順を使用して、ブリッジドメインレベルで送信元フィルタリングまたは受信者フィルタリング、あるいはその両方を設定します。

始める前に

- マルチキャストフィルタリングを設定するブリッジドメインはすでに作成されています。
- ブリッジ ドメインは PIM 対応ブリッジ ドメインです。
- •レイヤ3マルチキャストは VRF レベルで有効になります。
- ステップ1 ブリッジドメインでマルチキャストソースフィルタリングを有効にする場合は、次の例のように XML で POST を送信します。

例:

ステップ2 ブリッジ ドメインでマルチキャスト レシーバ フィルタリングを有効にする場合は、次の例のように XML で POST を送信します。

(注) また、次の例のように XML で POST を送信することで、同じブリッジ ドメインで送信元と受信者の両方のフィルタリングを有効にすることもできます。

REST API を使用したマルチポッドの設定

REST API を使用したマルチポッド ファブリックのセットアップ

```
ステップ1 Cisco APIC へのログイン:
```

```
例:
```

```
http://<apic-name/ip>:80/api/aaaLogin.xml
data: <aaaUser name="admin" pwd="ins3965!"/>
```

ステップ2 TEP プールの設定:

例:

ステップ3 ノード ID ポリシーの設定:

例:

http://<apic-name/ip>:80/api/node/mo/uni/controller.xml

```
<fabricNodeIdentPol>
<fabricNodeIdentP serial="SAL1819RXP4" name="ifav4-leaf1" nodeId="101" podId="1"/>
<fabricNodeIdentP serial="SAL1803L25H" name="ifav4-leaf2" nodeId="102" podId="1"/>
<fabricNodeIdentP serial="SAL1934MNY0" name="ifav4-leaf3" nodeId="103" podId="1"/>
<fabricNodeIdentP serial="SAL1934MNY3" name="ifav4-leaf4" nodeId="104" podId="1"/>
<fabricNodeIdentP serial="SAL1748H56D" name="ifav4-spine1" nodeId="201" podId="1"/>
<fabricNodeIdentP serial="SAL1938P7A6" name="ifav4-spine3" nodeId="202" podId="1"/>
<fabricNodeIdentP serial="SAL1938PHBB" name="ifav4-leaf5" nodeId="105" podId="2"/>
<fabricNodeIdentP serial="SAL1942R857" name="ifav4-leaf6" nodeId="106" podId="2"/>
<fabricNodeIdentP serial="SAL1931LA3B" name="ifav4-spine2" nodeId="203" podId="2"/>
```

<fabricNodeIdentP serial="FGE173400A9" name="ifav4-spine4" nodeId="204" podId="2"/>
</fabricNodeIdentPol>

ステップ4 インフラ L3Out および外部接続プロファイルの設定:

```
http://<apic-name/ip>:80/api/node/mo/uni.xml
<polUni>
<frvTenant descr="" dn="uni/tn-infra" name="infra" ownerKey="" ownerTag="">
   <13extOut descr="" enforceRtctrl="export" name="multipod" ownerKey="" ownerTag=""
targetDscp="unspecified" status=''>
      <ospfExtP areaId='0' areaType='regular' status=''/>
      <13extRsEctx tnFvCtxName="overlay-1"/>
      <13extProvLbl descr="" name="prov mp1" ownerKey="" ownerTag="" tag="yellow-green"/>
      <13extLNodeP name="bSpine">
       <13extRsNodeL3OutAtt rtrId="201.201.201.201" rtrIdLoopBack="no" tDn="topology/pod-1/node-201">
            <l3extInfraNodeP descr="" fabricExtCtrlPeering="yes" name=""/>
            <13extLoopBackIfP addr="201::201/128" descr="" name=""/>
            <13extLoopBackIfP addr="201.201.201.201/32" descr="" name=""/>
         </l3extRsNodeL3OutAtt>
       <13extRsNodeL3OutAtt rtrId="202.202.202.202" rtrIdLoopBack="no" tDn="topology/pod-1/node-202">
            <13extInfraNodeP descr="" fabricExtCtrlPeering="yes" name=""/>
            <l3extLoopBackIfP addr="202::202/128" descr="" name=""/>
            <l3extLoopBackIfP addr="202.202.202.202/32" descr="" name=""/>
         3extRsNodeL3OutAtt>
       <13extRsNodeL3OutAtt rtrId="203.203.203.203" rtrIdLoopBack="no" tDn="topology/pod-2/node-203">
            <13extInfraNodeP descr="" fabricExtCtrlPeering="yes" name=""/>
            <13extLoopBackIfP addr="203::203/128" descr="" name=""/>
            <13extLoopBackIfP addr="203.203.203.203/32" descr="" name=""/>
         </l3extRsNodeL3OutAtt>
       <13extRsNodeL3OutAtt rtrId="204.204.204.204" rtrIdLoopBack="no" tDn="topology/pod-2/node-204">
            <13extInfraNodeP descr="" fabricExtCtrlPeering="yes" name=""/>
            <13extLoopBackIfP addr="204::204/128" descr="" name=""/>
            <13extLoopBackIfP addr="204.204.204.204/32" descr="" name=""/>
         </l3extRsNodeL3OutAtt>
         <l3extLIfP name='portIf'>
            <13extRsPathL3OutAtt descr='asr' tDn="topology/pod-1/paths-201/pathep-[eth1/1]"</pre>
encap='vlan-4' ifInstT='sub-interface' addr="201.1.1.1/30" />
            <13extRsPathL3OutAtt descr='asr' tDn="topology/pod-1/paths-201/pathep-[eth1/2]"</pre>
encap='vlan-4' ifInstT='sub-interface' addr="201.2.1.1/30" />
            <13extRsPathL3OutAtt descr='asr' tDn="topology/pod-1/paths-202/pathep-[eth1/2]"</pre>
encap='vlan-4' ifInstT='sub-interface' addr="202.1.1.1/30" />
            <13extRsPathL3OutAtt descr='asr' tDn="topology/pod-2/paths-203/pathep-[eth1/1]"
encap='vlan-4' ifInstT='sub-interface' addr="203.1.1.1/30" />
            <13extRsPathL3OutAtt descr='asr' tDn="topology/pod-2/paths-203/pathep-[eth1/2]"</pre>
encap='vlan-4' ifInstT='sub-interface' addr="203.2.1.1/30" />
            <l3extRsPathL3OutAtt descr='asr' tDn="topology/pod-2/paths-204/pathep-[eth4/31]"</pre>
encap='vlan-4' ifInstT='sub-interface' addr="204.1.1.1/30" />
           <ospfIfP>
               <ospfRsIfPol tnOspfIfPolName='ospfIfPol'/>
```

```
</ospfIfP>
         </13extJJfP>
      </l></l></l></l></l><
      <l3extInstP descr="" matchT="AtleastOne" name="instp1" prio="unspecified"</pre>
targetDscp="unspecified">
         <fvRsCustOosPol tnOosCustomPolName=""/>
      </l3extInstP>
   </13ext0ut>
  <fvFabricExtConnP descr="" id="1" name="Fabric Ext Conn Pol1" rt="extended:as2-nn4:5:16" status=''>
      <frvPodConnP descr="" id="1" name="">
         <fvIp addr="100.11.1.1/32"/>
      </fvPodConnP>
      <fvPodConnP descr="" id="2" name="">
        <fvIp addr="200.11.1.1/32"/>
      </fre>
      <frvPeeringP descr="" name="" ownerKey="" ownerTag="" type="automatic_with_full_mesh"/>
      <13extFabricExtRoutingP descr="" name="ext_routing_prof_1" ownerKey="" ownerTag="">
         <13extSubnet aggregate="" descr="" ip="\overline{100.0.0.0/8" name="" scope="import-security"/>
        <13extSubnet aggregate="" descr="" ip="200.0.0.0/8" name="" scope="import-security"/>
        <13extSubnet aggregate="" descr="" ip="201.1.0.0/16" name="" scope="import-security"/>
        <13extSubnet aggregate="" descr="" ip="201.2.0.0/16" name="" scope="import-security"/>
        <13extSubnet aggregate="" descr="" ip="202.1.0.0/16" name="" scope="import-security"/>
        <13extSubnet aggregate="" descr="" ip="203.1.0.0/16" name="" scope="import-security"/>
        <13extSubnet aggregate="" descr="" ip="203.2.0.0/16" name="" scope="import-security"/>
         <13extSubnet aggregate="" descr="" ip="204.1.0.0/16" name="" scope="import-security"/>
      </l></l></l></l></l><
   </fvFabricExtConnP>
</frequences
</polUni>
```

REST API を使用したリモート リーフ スイッチの設定

REST API を使用したリモート リーフ スイッチの設定

Cisco APIC を有効にして IPN ルータとリモートリーフ スイッチを検出し接続するには、このトピックの手順を実行します。

この例では、マルチポッドトポロジで、ポッドにリモートリーフスイッチが接続されていることを前提としています。VRFオーバーレイ1とともに、インフラテナントに設定されている2個のL3Outsが含まれます。

- •1 個は VLAN 4 に設定され、リモート リーフ スイッチとスパイン スイッチ両方が WAN ルータに接続されている必要があります。
- •1個はマルチポッド内部 L3Out が VLAN5 で設定されており、一緒に展開する場合はマルチポッドとリモートリーフ機能に必要です。
- ステップ1 ポッドに接続されるように 2 個のリモート リーフ スイッチに TEP プールを定義するには、次の例のように XML で POST を送信します。

例:

ステップ2 ノードのアイデンティティ ポリシーを定義するには、次の例のように XML で POST を送信します。

例:

ステップ3 ファブリック外部接続プロファイルを設定するには、次の例のように XML で POST を送信します。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<imdata totalCount="1">
     <fvFabricExtConnP dn="uni/tn-infra/fabricExtConnP-1" id="1" name="Fabric Ext Conn Pol1"
rt="extended:as2-nn4:5:16" siteId="0">
           <13extFabricExtRoutingP name="test">
                <l3extSubnet ip="150.1.0.0/16" scope="import-security"/>
          </l3extFabricExtRoutingP>
         <13extFabricExtRoutingP name="ext routing prof 1">
               <l3extSubnet ip="204.1.0.0/16" scope="import-security"/>
               <13extSubnet ip="209.2.0.0/16" scope="import-security"/>
               <13extSubnet ip="202.1.0.0/16" scope="import-security"/>
               <13extSubnet ip="207.1.0.0/16" scope="import-security"/>
               <13extSubnet ip="200.0.0.0/8" scope="import-security"/>
               <l3extSubnet ip="201.2.0.0/16" scope="import-security"/>
               <13extSubnet ip="210.2.0.0/16" scope="import-security"/>
               <l3extSubnet ip="209.1.0.0/16" scope="import-security"/>
               <l3extSubnet ip="203.2.0.0/16" scope="import-security"/>
               <13extSubnet ip="208.1.0.0/16" scope="import-security"/>
               <13extSubnet ip="207.2.0.0/16" scope="import-security"/>
               <13extSubnet ip="100.0.0.0/8" scope="import-security"/>
               <13extSubnet ip="201.1.0.0/16" scope="import-security"/>
               <l3extSubnet ip="210.1.0.0/16" scope="import-security"/>
               <l3extSubnet ip="203.1.0.0/16" scope="import-security"/>
               <13extSubnet ip="208.2.0.0/16" scope="import-security"/>
         </l></l></l></l></l><
         <fvPodConnP id="1">
               <fvIp addr="100.11.1.1/32"/>
         </fvPodConnP>
         <fvPodConnP id="2">
               <fvIp addr="200.11.1.1/32"/>
         </fvPodConnP>
         <fvPeeringP type="automatic_with_full_mesh"/>
     </fvFabricExtConnP>
</imdata>
```

ステップ 4 VLAN 4 で L3Out を設定するには、リモート リーフ スイッチとスパイン スイッチ両方が WAN ルータに接続され、次の例のように XML を入力する必要があります。

例:

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<polUni>
<frvTenant name="infra">
  <13extOut name="rleaf-wan-test">
    <ospfExtP areaId="0.0.0.5"/>
   <bqpExtP/>
   <13extRsEctx tnFvCtxName="overlay-1"/>
    <l3extRsL3DomAtt tDn="uni/13dom-13extDom1"/>
    <13extProvLbl descr="" name="prov mp1" ownerKey="" ownerTag="" tag="yellow-green"/>
    <13extLNodeP name="rleaf-101">
     <13extRsNodeL3OutAtt rtrId="202.202.202.202" tDn="topology/pod-1/node-101">
      </l3extRsNodeL3OutAtt>
      <13extLIfP name="portIf">
       <13extRsPathL3OutAtt ifInstT="sub-interface" tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/49]"
 addr="202.1.1.2/30" mac="AA:11:22:33:44:66" encap='vlan-4'/>
       <ospfIfP>
         <ospfRsIfPol tnOspfIfPolName='ospfIfPol'/>
        </ospfIfP>
      </13extITfP>
    </l></l></l></l></l><
    <13extLNodeP name="rlSpine-201">
     <13extRsNodeL3OutAtt rtrId="201.201.201.201" rtrIdLoopBack="no" tDn="topology/pod-1/node-201">
        < ! --
        <13extLoopBackIfP addr="201::201/128" descr="" name=""/>
        <l3extLoopBackIfP addr="201.201.201.201/32" descr="" name=""/>
       <l3extLoopBackIfP addr="::" />
      </l3extRsNodeL3OutAtt>
      <13extLIfP name="portIf">
       <13extRsPathL3OutAtt ifInstT="sub-interface" tDn="topology/pod-1/paths-201/pathep-[eth8/36]"
 addr="201.1.1.1/30" mac="00:11:22:33:77:55" encap='vlan-4'/>
       <ospfIfP>
          <ospfRsIfPol tnOspfIfPolName='ospfIfPol'/>
       </ospfIfP>
      </l3extLIfP>
   <13extInstP descr="" matchT="AtleastOne" name="instp1" prio="unspecified" targetDscp="unspecified">
      <fvRsCustQosPol tnQosCustomPolName=""/>
   </l3extInstP>
  </l3extOut>
 <ospfIfPol name="ospfIfPol" nwT="bcast"/>
</fvTenant>
```

- ステップ5 リリース 4.1(2) 以前で、VLAN-5 でマルチポッド L3Out を設定するには、マルチポッドとリモート リーフトポロジの両方と、次の例のように XML を送信する必要があります。
 - (注) リリース 4.1(2) 以降を実行している新しいリモートリーフスイッチを導入し、それらのリモートリーフスイッチで直接トラフィック転送をイネーブルにする場合は、この情報を入力しないでください。この場合、マルチポッドに VLAN-5 を使用して OSPF インスタンスを設定する必要はありません。詳細については、「ダイレクトトラフィックフォワーディングについて」を参照してください。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<polUni>
 <frvTenant name="infra" >
   <l3extOut name="ipn-multipodInternal">
     ospfExtP areaCtrl="inherit-ipsec,redistribute,summary" areaId="0.0.0.5" multipodInternal="yes"
     <13extRsEctx tnFvCtxName="overlay-1" />
     <13extLNodeP name="bLeaf">
      <13extRsNodeL3OutAtt rtrId="202.202.202.202" rtrIdLoopBack="no" tDn="topology/pod-2/node-202">
           <13extLoopBackIfP addr="202.202.202.212"/>
      30utAtt>
      <13extRsNodeL3OutAtt rtrId="102.102.102.102" rtrIdLoopBack="no" tDn="topology/pod-1/node-102">
           <13extLoopBackIfP addr="102.102.102.112"/>
      </l3extRsNodeL3OutAtt>
       <13extLIfP name="portIf">
         <ospfIfP authKeyId="1" authType="none">
           <ospfRsIfPol tnOspfIfPolName="ospfIfPol" />
         </ospfIfP>
         <13extRsPathL3OutAtt addr="10.0.254.233/30" encap="vlan-5" ifInstT="sub-interface"
tDn="topology/pod-2/paths-202/pathep-[eth5/2]"/>
         <13extRsPathL3OutAtt addr="10.0.255.229/30" encap="vlan-5" ifInstT="sub-interface"
tDn="topology/pod-1/paths-102/pathep-[eth5/2]"/>
       <l3extInstP matchT="AtleastOne" name="ipnInstP" />
   </l3extOut>
 </fvTenant>
</polUni>
```

REST API を使用した SR-MPLS ハンドオフの設定

REST API を使用した SR-MPLS インフラ L30ut の設定

- SR-MPLS インフラ L3Out は、境界リーフスイッチで設定され、SR-MPLS ハンドオフに必要なアンダーレイ BGP-LUおよびオーバーレイ MP-BGP EVPN セッションを設定するために使用されます。
- SR-MPLS インフラ L3Out は、ポッドまたはリモートリーフ スイッチ サイトにスコープされます。
- •1つの SR-MPLS インフラ L3Out 内の境界リーフ スイッチまたはリモート リーフ スイッチ は、1つ以上のルーティング ドメイン内の 1つ以上のプロバイダー エッジ (PE) ルータ に接続できます。
- ポッドまたはリモート リーフスイッチ サイトには、1 つ以上の SR-MPLS インフラ L3Out を設定できます。
- 各 SR-MPLS インフラ L3Out には、一意のプロバイダー ラベルと 1 つのプロバイダー ラベルの 3 かのみが必要です。各 SR-MPLS インフラ L3Out は、プロバイダー ラベルによって識別されます。

SR-MPLS インフラ L3Out を設定する場合は、次の項目を設定します。

ノード

- リーフ スイッチのみが SR-MPLS インフラ L3Out のノードとして設定できます(境界 リーフ スイッチおよびリモート リーフ スイッチ)。
- 各 SR-MPLS インフラ L3Out は、1 つのポッドからの境界リーフ スイッチまたは同じ サイトからのリモート リーフ スイッチを持つことができます。
- 各境界リーフ スイッチまたはリモート リーフ スイッチは、複数の SR-MPLS ドメインに接続する場合、複数の SR-MPLS インフラ L3Out で設定できます。
- また、ノードの下にループバックインターフェイスを設定し、ループバックインターフェイスの下にノード SID ポリシーを設定します。

・インターフェイス

- サポートされるインターフェイスのタイプは次のとおりです。
 - ルーテッド インターフェイスまたはサブインターフェイス
 - ルーテッド ポートチャネルまたはポートチャネル サブインターフェイス

サブインターフェイスでは、任意の VLAN タグがサポートされます。

• また、SR-MPLS infra L3Out のインターフェイス エリアの下にアンダーレイ BGP ピア ポリシーを設定します。

・OoS ルール

- MPLS 入力ルールと MPLS 出力ルールは、SR-MPLS インフラ L3Out の MPLS QoS ポリシーを使用して設定できます。
- MPLS QoS ポリシーを作成しない場合、入力 MPLS トラフィックにはデフォルトの QoS レベルが割り当てられます。

また、SR-MPLS インフラ L3Out を使用してアンダーレイとオーバーレイを設定します。

- アンダーレイ: インターフェイス設定の一部としてのBGPピアIP(BGPLUピア)設定。
- オーバーレイ:論理ノードプロファイル設定の一部としてのMP-BGP EVPN リモートIPv4 アドレス (MP-BGP EVPN ピア) 設定。

始める前に

- 注意事項と制約事項 で提供されている SR-MPLS ガイドラインと制約事項を確認します。 特に、SR-MPLS インフラ L3Out のガイドラインと制約事項 で提供されているガイドラインと制約事項を確認してください。
- (任意) 必要に応じて、の手順を使用して MPLS カスタム QoS ポリシーを設定します。 REST API を使用した SR-MPLS カスタム QoS ポリシー (25 ページ)

次のような情報が表示されます。

```
<polUni>
<fre><fvTenant name="infra">
    <mplsIfPol name="default"/>
    <mplsLabelPol name="default" >
       <mplsSrgbLabelPol minSrgbLabel="16000" maxSrgbLabel="17000" localId="1" status=""/>
    </mplsLabelPol>
<13extOut name="mplsOut" status="" descr="bl" mplsEnabled="yes">
    <13extRsEctx tnFvCtxName="overlay-1"/>
    <13extProvLbl name="mpls" />
    <mplsExtP status="" >
        <mplsRsLabelPol tDn="uni/tn-infra/mplslabelpol-default"/>
    </mplsExtP>
    <l3extLNodeP name="mplsLNP" status="">
        <13extRsNodeL3OutAtt rtrId="100.1.1.1" rtrIdLoopBack="no" tDn="topology/pod-1/node-101"
status="">
            <l3extLoopBackIfP addr="10.10.10.11" status="">
                <mplsNodeSidP sidoffset="2" loopbackAddr="10.1.3.11" status=""/>
            </l3extLoopBackIfP>
        </13extRsNodeL3OutAtt>
        <l3extLIfP name="mplsLIfP1" status="">
            <mplsIfP status="">
                <mplsRsIfPol tnMplsIfPolName="default" />
            </mplsIfP>
            <l3extRsPathL3OutAtt addr="34.1.2.3/30" ifInstT="13-port"</pre>
tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/8]">
                <bgpPeerP addr="9.9.9.7" addrTCtrl="af-ucast,af-label-ucast" ctrl="send-ext-com"</pre>
ttl="1" status="">
                    <bgpAsP asn="100"/>
                </bgpPeerP>
            </13extRsPathL3OutAtt>
        </13extLTfP>
       <bgpInfraPeerP addr="20.1.1.1" ctrl="send-com, send-ext-com" peerT="sr-mpls" ttl="3" status=""</pre>
            <bgpAsP asn="100"/>
        </bgpInfraPeerP>
    </l3extLNodeP>
    <13extInstP name="mplsInstP">
        <13extSubnet aggregate="" descr="" ip="11.11.11.0/24" name="" scope="import-security"/>
    </l3extInstP>
    <bgpExtP/>
    <l3extRsL3DomAtt tDn="uni/13dom-13extDom1" />
</l3extOut>
</fvTenant>
</polUni>
```

REST API を使用した SR-MPLS VRF L30ut の設定

この項の手順を使用して、SR-MPLS VRF L3Out を設定します。これは、前の手順で設定した SR-MPLS インフラ L3Out からのトラフィックの転送に使用されます。

- ユーザ テナント VRF は SR-MPLS インフラ L3Out にマッピングされ、テナント ブリッジドメイン サブネットを DC-PE ルータにアドバタイズし、DC-PE から受信した MPLS VPN ルートをインポートします。
- 各 VRF の SR-MPLS VRF L3Out でルーティング ポリシーとセキュリティ ポリシーを指定 する必要があります。これらのポリシーは、1 つ以上の SR-MPLS インフラ L3Out をポイントします。
- VRF ごとに 1 つの SR-MPLS VRF L3Out がサポートされます。
- •1つの SR-MPLS VRF L3Out で複数のコンシューマ ラベルを設定でき、各コンシューマ ラベルで1つの SR-MPLS インフラ L3Out を識別できます。コンシューマ ラベルは、特定のポッドまたはリモート リーフ スイッチの特定の MPLS ドメインである 1 つの SR-MPLS VRF L3Out との間のトラフィックのエントリ ポイントと出口ポイントを識別します。

始める前に

- 注意事項と制約事項 で提供されている SR-MPLS ガイドラインと制約事項を確認します。 特に、SR-MPLS VRF L3Out のガイドラインと制約事項 で提供されているガイドラインと 制約事項を確認してください。
- REST API を使用した SR-MPLS インフラ L3Out の設定 (21 ページ) の手順に従って、 SR-MPLS インフラ L3Out を設定します。

次のような情報が表示されます。

```
<polUni>
<frvTenant name="t1">
 <fvCtx name="v1">
   <!-- specify bgp evpn route-target -->
   <bgpRtTargetP af="ipv4-ucast">
     <bgpRtTarget rt="route-target:as4-nn2:100:1259" type="import"/>
     <bgpRtTarget rt="route-target:as4-nn2:100:1259" type="export"/>
   </bgpRtTargetP>
 </fvCtx>
 <!-- MPLS L3out -->
 <13extOut name="out1" mplsEnabled="yes">
   <13extRsEctx tnFvCtxName="v1" />
   <!-- MPLS consumer label -->
   <13extConsLbl name="mpls1">
     <!-- route profile association -->
     <13extRsLblToProfile tDn="uni/tn-t1/prof-rp1" direction="export" />
     <!-- InstP association -->
     <l3extRsLblToInstP tDn="uni/tn-t1/out-out1/instP-epgMpls1" />
   <!-- External-EPG -->
   <13extInstP name="epgMpls1">
     <fvRsProv tnVzBrCPName="cp1"/>
     <13extSubnet ip="55.1.1.1/28"/>
   </l3extInstP>
   <bgpExtP/>
```

```
<!-- route control profile -->
  <rtctrlProfile descr="" name="rp1" type="global" status="">
   <rtctrlCtxP action="permit" descr="" name="ctx1" order="0">
      <rtctrlRsCtxPToSubjP status="" tnRtctrlSubjPName="subj1"/>
   </rtctrlCtxP>
  </rtctrlProfile>
  <rtctrlSubjP descr="" name="subj1" status="" >
   <rtctrlMatchRtDest ip="101.1.1.1/32"/>
    <rtctrlMatchRtDest ip="102.1.1.0/24" aggregate="yes"/>
  </rtctrlSubjP>
  <!-- Filter and Contract (global) -->
  <vzBrCP name="cp1" scope="global">
   <vzSubj name="allow-all">
      <vzRsSubjFiltAtt action="permit" tnVzFilterName="default" />
   </vzSubj>
  </vzBrCP>
</fvTenant>
</polUni>
```

REST API を使用した SR-MPLS カスタム QoS ポリシー

SR MPLS カスタム QoS ポリシーは、MPLS QoS 出力 ポリシーで定義された着信 MPLS EXP 値に基づいて、SR-MPLSネットワークから送信されるパケットのプライオリティを定義します。これらのパケットは、ACI ファブリック内にあります。また、MPLS QoS 出力ポリシーで定義された IPv4 DSCP 値に基づく MPLS インターフェイスを介して ACI ファブリックから離れるパケットの CoS 値および MPLS EXP 値をマーキングします。

カスタム出力ポリシーが定義されていない場合、デフォルトのQosレベル(Level3)がファブリック内のパケットに割り当てられます。カスタム出力ポリシーが定義されていない場合、デフォルトのEXP値(0)がファブリックから離れるパケットにマーキングされます。

ステップ1 SR-MPLS QoS ポリシーの作成

次のPOSTで、

- customgos1を、作成する SR-MPLS QoS ポリシーの名前に置き換えます。
- qosMplsIngressRuleの場合:
 - from = "2" to = "3"を、ポリシーに一致させる EXP 範囲に置き換えます。
 - prio = "level5"を ACI ファブリック内にあるパケットの ACI QoS レベルに置き換えます。
 - target = "CS5" は、パケットが一致したときに設定する DSCP 値に置き換えます。
 - targetCos = "4" を、パケットが一致したときにパケットに設定する CoS 値に置き換えます。
- gosMplsEgressRule の場合:
 - from = "CS2" to = "CS4" を、ポリシーを照合する DSCP 範囲に置き換えます。

- targetExp = "5" を、パケットがファブリックを離れるときに設定する EXP 値に置き換えます。
- targetCos = "3" を、パケットがファブリックを離れるときに設定する CoS 値に置き換えます。

ステップ2 SR-MPLS QoS ポリシーの作成

次の POST で、customgos1 を前の手順で作成した SR-MPLS QoS ポリシーの名前に置き換えます。

パートII:外部ルーティング(L30ut)の設定

外部ネットワークへのルーテッド接続

REST API を使用した MP-BGP ルート リフレクタの設定

REST API を使用した MP-BGP ルート リフレクタの設定

ステップ1 スパイン スイッチをルート リフレクタとしてマークします。

例:

```
POST https://apic-ip-address/api/policymgr/mo/uni/fabric.xml

<br/>
<br/>
dbgpInstPol name="default">
<bgpAsP asn="1" />
<bgpRRP>
<bgpRRNodePEp id="<spine_id1>"/>
<bgpRRNodePEp id="<spine_id2>"/>
</bgpRRP>
</bgpRRP>
</bgpRRP>
</bgpInstPol>
```

ステップ2 次のポストを使用してポッドセレクタをセットアップします。

例:

REST API を使用したループ防止のための BGP ドメイン パス機能の設定

始める前に

ループ防止のためのBGPドメインパス機能についてに記載されている情報を使用して、BGPドメイン パス機能に精通します。

ステップ1 ループ防止に BGP ドメイン パス機能を使用する場合は、グローバル Domain IdBase を設定します。

```
<polUni>
  <fabricInst>
    <bgpInstPol name="default">
        \default">
        \defaultBase domainIdBase="12346" />
        </bgpInstPol>
        </fabricInst>
        </polUni>
```

ステップ2 適切な L3Out で send-domain-path を有効にします。

```
<bgpPeerP addr="22.22.3.5" addrTCtrl="af-ucast" allowedSelfAsCnt="3" ttl="2"
    ctrlExt="send-domain-path" ctrl="send-ext-com">
</bgpPeerP>
```

L30ut のノードとインターフェイス

REST API を使用したレイヤ 3 ルーテッド ポート チャネルとサブインターフェイス ポート チャネルの設定

REST API を使用したレイヤ 3 ルーテッド ポート チャネルの設定

始める前に

- ACIファブリックが設置され、APICコントローラがオンラインになっており、APICクラスタが形成されて正常に動作していること。
- 必要なファブリックインフラストラクチャ設定を作成できる APIC ファブリック管理者アカウントが使用可能であること。
- ・ターゲット リーフ スイッチが ACI ファブリックに登録され、使用可能であること。
- •ポートチャネルは、L3Outインターフェイスにポートチャネルが使用される場合に設定されます。



(注)

次の REST API 例では、長い1行のテキストは\で分けて読みやすくします。

REST API を使用して以前作成したポート チャネルにレイヤ 3 ルートを設定するには、次のように XML で post を送信します。

```
<polUni>
<frvTenant name=pep9>
    <13extOut descr="" dn="uni/tn-pep9/out-routAccounting" enforceRtctrl="export" \
     name="routAccounting" nameAlias="" ownerKey="" ownerTag="" \
     targetDscp="unspecified">
        <l3extRsL3DomAtt tDn="uni/l3dom-Dom1"/>
        <13extRsEctx tnFvCtxName="ctx9"/>
        <13extLNodeP configIssues="" descr="" name="node101" nameAlias="" ownerKey="" \
         ownerTag="" tag="yellow-green" targetDscp="unspecified">
            <l3extRsNodeL3OutAtt rtrId="10.1.0.101" rtrIdLoopBack="yes" \</pre>
             tDn="topology/pod-1/node-101">
                <l3extInfraNodeP descr="" fabricExtCtrlPeering="no" \</pre>
                 fabricExtIntersiteCtrlPeering="no" name="" nameAlias="" spineRole=""/>
            3extRsNodeL3OutAtt>
            <13extLIfP descr="" name="lifp17" nameAlias="" ownerKey="" ownerTag="" \
             tag="yellow-green">
                <ospfIfP authKeyId="1" authType="none" descr="" name="" nameAlias="">
                    <ospfRsIfPol tnOspfIfPolName=""/>
                </ospfIfP>
                <13extRsPathL3OutAtt addr="10.1.5.3/24" autostate="disabled" descr="" \
                 encap="unknown" encapScope="local" ifInstT="l3-port" llAddr="::" \
                 mac="00:22:BD:F8:19:FF" mode="regular" mtu="inherit" \
                 tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[po17_PolGrp]" \
                 targetDscp="unspecified"/>
```

```
<13extRsNdIfPol tnNdIfPolName=""/>
                <13extRsIngressQosDppPol tnQosDppPolName=""/>
                <l3extRsEgressQosDppPol tnQosDppPolName=""/>
            </l3extLIfP>
        </l></l></l></l></l><
        <l3extInstP descr="" floodOnEncap="disabled" matchT="AtleastOne" \</pre>
         name="accountingInst" nameAlias="" prefGrMemb="exclude" prio="unspecified" \
         targetDscp="unspecified">
            <frvRsProv matchT="AtleastOne" prio="unspecified" tnVzBrCPName="webCtrct"/>
            <13extSubnet aggregate="export-rtctrl, import-rtctrl" descr="" ip="0.0.0.0/0" \</pre>
             name="" nameAlias="" scope="export-rtctrl,import-rtctrl,import-security"/>
            <13extSubnet aggregate="export-rtctrl,import-rtctrl" descr="" ip="::/0" \</pre>
             name="" nameAlias="" scope="export-rtctrl,import-rtctrl,import-security"/>
            <fvRsCustQosPol tnQosCustomPolName=""/>
        </l3extInstP>
        <13extConsLbl descr="" name="golf" nameAlias="" owner="infra" ownerKey="" \
         ownerTag="" tag="yellow-green"/>
    </13ext.Out.>
</fvTenant>
</polUni>
```

REST API を使用して、レイヤ3サブインターフェイス ポート チャネルの設定

始める前に

- ACIファブリックが設置され、APICコントローラがオンラインになっており、APICクラスタが形成されて正常に動作していること。
- 必要なファブリックインフラストラクチャ設定を作成できる APIC ファブリック管理者アカウントが使用可能であること。
- ターゲットリーフスイッチがACIファブリックに登録され、使用可能であること。
- •ポートチャネルは、「REST API を使用したポートチャネルの設定」の手順を使用して設定されます。



(注) 次の REST API 例では、1 つ以上の行のテキストはで区分するが、\読みやすさを改善する文字。

REST API を使用して、以前に作成したポート チャネルをレイヤ 3 サブインターフェイス ルートを設定するには、次のようには、XML で post を送信します。

```
<l3extRsNodeL3OutAtt rtrId="10.1.0.101" rtrIdLoopBack="yes" \</pre>
             tDn="topology/pod-1/node-101">
                <l3extInfraNodeP descr="" fabricExtCtrlPeering="no" \</pre>
                 fabricExtIntersiteCtrlPeering="no" name="" nameAlias="" spineRole=""/>
            </l3extRsNodeL3OutAtt>
            <13extLIfP descr="" name="lifp27" nameAlias="" ownerKey="" ownerTag="" \
             tag="yellow-green">
                <ospfIfP authKeyId="1" authType="none" descr="" name="" nameAlias="">
                    <ospfRsIfPol tnOspfIfPolName=""/>
                </ospfIfP>
                <13extRsPathL3OutAtt addr="11.1.5.3/24" autostate="disabled" descr="" \
                 encap="vlan-2001" encapScope="local" ifInstT="sub-interface" \
                 11Addr="::" mac="00:22:BD:F8:19:FF" mode="regular" mtu="inherit" \
                 tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[po27 PolGrp]" \
                 targetDscp="unspecified"/>
                <l3extRsNdIfPol tnNdIfPolName=""/>
                <13extRsIngressQosDppPol tnQosDppPolName=""/>
                <l3extRsEgressQosDppPol tnQosDppPolName=""/>
            </13ext.LTfP>
        </l></l></l></l></l><
        <13extInstP descr="" floodOnEncap="disabled" matchT="AtleastOne" \</pre>
         name="accountingInst" nameAlias="" prefGrMemb="exclude" prio="unspecified" \
         targetDscp="unspecified">
            <frvRsProv matchT="AtleastOne" prio="unspecified" tnVzBrCPName="webCtrct"/>
            <13extSubnet aggregate="export-rtctrl,import-rtctrl" descr="" ip="0.0.0.0/0" \
            name="" nameAlias="" scope="export-rtctrl,import-rtctrl,import-security"/>
            <13extSubnet aggregate="export-rtctrl,import-rtctrl" descr="" ip="::/0" \</pre>
            name="" nameAlias="" scope="export-rtctrl,import-rtctrl,import-security"/>
            <fvRsCustQosPol tnQosCustomPolName=""/>
        </l3extInstP>
        <13extConsLbl descr="" name="golf" nameAlias="" owner="infra" ownerKey="" \
         ownerTag="" tag="yellow-green"/>
    </l3extOut>
</fvTenant>
</polUni>
```

REST API を使用したスイッチ仮想インターフェイスの設定

REST API を使用して、SVI インターフェイスのカプセル化スコープの設定

始める前に

インターフェイスセレクタが設定されます。

SVIインターフェイスのカプセル化の範囲を設定します。

```
tag="yellow-green" targetDscp="unspecified">
   <13extRsNodeL3OutAtt rtrId="1.1.1.1" rtrIdLoopBack="no" tDn="topology/pod-1/node-101"/>
    <13extLIfP descr="" name="int1 11" nameAlias="" ownerKey="" ownerTag="" tag="yellow-green">
     <13extRsPathL3OutAtt addr="1.2.3.4/24" descr="" encap="vlan-2001" encapScope="ctx"
ifInstT="ext-svi" llAddr="0.0.0.0" mac="00:22:BD:F8:19:FF" mode="regular" mtu="inherit"
tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/5]" targetDscp="unspecified"/>
    <l3extRsNdIfPol tnNdIfPolName=""/>
     <13extRsIngressQosDppPol tnQosDppPolName=""/>
    <l3extRsEgressQosDppPol tnQosDppPolName=""/>
   </13extITfP>
   </l></l></l></l></l><
   <13extInstP descr="" matchT="AtleastOne" name="epg1" nameAlias="" prefGrMemb="exclude"
prio="unspecified" targetDscp="unspecified">
   <13extSubnet aggregate="" descr="" ip="101.10.10.1/24" name="" nameAlias=""</pre>
scope="import-security"/>
   <fvRsCustQosPol tnQosCustomPolName=""/>
   </l3extInstP>
 </13extOut>
</fr>Tenant>
</polUni>
```

REST API を使用した SVI 自動状態の設定

始める前に

- テナントと VRF が設定されています。
- ・レイヤ3アウトが設定されており、レイヤ3アウトの論理ノードプロファイルと論理インターフェイスプロファイルが設定されています。

SVIの自動状態の値を有効にします。

例:

自動状態を無効にするには、上記の例では無効に値を変更する必要があります。例: autostate="disabled"。

REST API を使用したルーティング プロトコルの設定

REST API を使用した BFD サポート付き BGP 外部ルーテッド ネットワークの設定

REST API を使用した BGP 外部ルーテッド ネットワークの設定

始める前に

外部ルーテッドネットワークを設定するテナントがすでに作成されていること。 ここでは、REST API を使用して BGP 外部ルーテッドネットワークを設定する方法を示します。

例:

```
<13extOut descr="" dn="uni/tn-t1/out-13out-bgp" enforceRtctrl="export" name="13out-bgp" ownerKey=""
 ownerTag="" targetDscp="unspecified">
 <13extRsEctx tnFvCtxName="ctx3"/>
 <13extLNodeP configIssues="" descr="" name="13extLNodeP 1" ownerKey="" ownerTag="" tag="yellow-green"</li>
 targetDscp="unspecified">
   <13extRsNodeL3OutAtt rtrId="1.1.1.1" rtrIdLoopBack="no" tDn="topology/pod-1/node-101"/>
   <13extLIfP descr="" name="13extLIfP 2" ownerKey="" ownerTag="" tag="yellow-green">
     <l3extRsNdIfPol tnNdIfPolName=""/>
     <13extRsIngressQosDppPol tnQosDppPolName=""/>
     <13extRsEgressQosDppPol tnQosDppPolName=""/>
     <l3extRsPathL3OutAtt addr="3001::31:0:1:2/120" descr="" encap="vlan-3001" encapScope="local"</pre>
ifInstT="sub-interface" llAddr="::" mac="00:22:BD:F8:19:FF" mode="regular" mtu="inherit"
tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/8]" targetDscp="unspecified">
       <bgpPeerP addr="3001::31:0:1:0/120" allowedSelfAsCnt="3" ctrl="send-com,send-ext-com" descr=""</pre>
 name="" peerCtrl="bfd" privateASctrl="remove-all, remove-exclusive, replace-as" ttl="1" weight="1000">
         <bgpRsPeerPfxPol tnBgpPeerPfxPolName=""/>
         <bgpAsP asn="3001" descr="" name=""/>
       </bgpPeerP>
     </l3extRsPathL3OutAtt>
   </13extLTfP>
   <13extLIfP descr="" name="13extLIfP 1" ownerKey="" ownerTag="" tag="yellow-green">
     <13extRsNdIfPol tnNdIfPolName=""/>
     <13extRsIngressQosDppPol tnQosDppPolName=""/>
     <13extRsEgressQosDppPol tnQosDppPolName=""/>
     <13extRsPathL3OutAtt addr="31.0.1.2/24" descr="" encap="vlan-3001" encapScope="local"
ifInstT="sub-interface" llAddr="::" mac="00:22:BD:F8:19:FF" mode="regular" mtu="inherit"
tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/8]" targetDscp="unspecified">
      <bgpPeerP addr="31.0.1.0/24" allowedSelfAsCnt="3" ctrl="send-com,send-ext-com" descr="" name=""</pre>
 peerCtrl="" privateASctrl="remove-all,remove-exclusive,replace-as" ttl="1" weight="100">
         <bgpRsPeerPfxPol tnBgpPeerPfxPolName=""/>
         <br/>
<
         <bgpAsP asn="3001" descr="" name=""/>
       </bgpPeerP>
     </l></l></l></l></l><
   </l3extLIfP>
 </l3extLNodeP>
 <l3extRsL3DomAtt tDn="uni/l3dom-l3-dom"/>
 <13extRsDampeningPol af="ipv6-ucast" tnRtctrlProfileName="damp rp"/>
 <13extRsDampeningPol af="ipv4-ucast" tnRtctrlProfileName="damp_rp"/>
```

```
<13extInstP descr="" matchT="AtleastOne" name="13extInstP 1" prio="unspecified"
targetDscp="unspecified">
 <13extSubnet aggregate="" descr="" ip="130.130.130.0/24" name="" scope="import-rtctrl"></13extSubnet>
 <13extSubnet aggregate="" descr="" ip="130.130.131.0/24" name="" scope="import-rtctrl"/>
 <13extSubnet aggregate="" descr="" ip="120.120.120.120/32" name=""
scope="export-rtctrl,import-security"/>
 <13extSubnet aggregate="" descr="" ip="3001::130:130:130:100/120" name="" scope="import-rtctrl"/>
</l3extInstP>
<bqpExtP descr=""/>
</l3extOut>
<rtctrlProfile descr="" dn="uni/tn-t1/prof-damp_rp" name="damp_rp" ownerKey="" ownerTag=""</pre>
type="combinable">
<rtctrlCtxP descr="" name="ipv4 rpc" order="0">
 <rtctrlScope descr="" name="">
  <rtctrlRsScopeToAttrP tnRtctrlAttrPName="act rule"/>
 </rtctrlScope>
</rtctrlCtxP>
</rtctrlProfile>
<rtctrlAttrP descr="" dn="uni/tn-t1/attr-act_rule" name="act_rule">
<rtctrlSetDamp descr="" halfLife="15" maxSuppressTime="60" name="" reuse="750" suppress="2000"</pre>
type="dampening-pol"/>
</rtctrlAttrP>
```

REST API を使用した BGP パスの設定

次のフィールドの許容値については、Cisco APICドキュメンテーション ページの 『Verified Scalability Guide for Cisco APIC』を参照してください。https://www.cisco.com/c/en/us/support/cloud-systems-management/application-policy-infrastructure-controller-apic/tsd-products-support-series-home.html

さらに多くのパスを設定できるようにする 2 つのプロパティは、bgpCtxAfPol オブジェクトの maxEcmp b maxEcmpIbgp です。これら b つのプロパティを設定した後、実装の残り部分に反映されます。b ECMP ポリシーは b VRF レベルで適用されます。

次の例では、REST API を使用して BGP 最長パス機能を設定する方法の情報を提供します。

REST API を使用した AS パス プリペンドの設定

次の例では、REST API を使用した AS パスプリペンド機能を設定する方法の情報を提供します。

REST API を使用した自律システム オーバーライド対応のネットワークのルーティング BGP 外部の設定

手順の概要

1. 自律型オーバーライドを有効にして、BGP外部ルーテッドネットワークを設定します。

手順の詳細

自律型オーバーライドを有効にして、BGP 外部ルーテッド ネットワークを設定します。

(注) 太字で表示されているコードの行に設定の BGP AS オーバーライド部分が表示されます。この機能は Cisco APIC リリース 3.1(2m) で導入されました。

```
<frvTenant name="coke">
         <fvCtx name="coke" status="">
                      <bgpRtTargetP af="ipv4-ucast">
                                   <bgpRtTarget type="import" rt="route-target:as4-nn2:1234:1300" />
                                   <bgpRtTarget type="export" rt="route-target:as4-nn2:1234:1300" />
                      </bgpRtTargetP>
                      <bgpRtTargetP af="ipv6-ucast">
                                   <bgpRtTarget type="import" rt="route-target:as4-nn2:1234:1300" />
                                   <br/>
<
                      </bgpRtTargetP>
         </fvCtx>
         <fvBD name="cokeBD">
                     <!-- Association from Bridge Doamin to Private Network -->
                      <fvRsCtx tnFvCtxName="coke" />
                      <fvRsBDToOut tnL3extOutName="routAccounting" />
                     <!-- Subnet behind the bridge domain-->
                     <fvSubnet ip="20.1.1.1/16" scope="public"/>
                      <fvSubnet ip="2000:1::1/64" scope="public"/>
         </frable>
         <fvBD name="cokeBD2">
                      <!-- Association from Bridge Doamin to Private Network -->
                     <fvRsCtx tnFvCtxName="coke" />
                      <fre><fvRsBDToOut tnL3extOutName="routAccounting" />
                      <!-- Subnet behind the bridge domain-->
```

```
<fvSubnet ip="30.1.1.1/16" scope="public"/>
   </fvBD>
   <vzBrCP name="webCtrct" scope="global">
       <vzSubj name="http">
           <vzRsSubjFiltAtt tnVzFilterName="default"/>
      </vzSubj>
   </vzBrCP>
   <!-- GOLF L3Out -->
   <13extOut name="routAccounting">
      <l3extConsLbl name="golf transit" owner="infra" status=""/>
      <bqpExtP/>
      <13extInstP name="accountingInst">
          < ! --
          <13extSubnet ip="192.2.2.0/24" scope="import-security,import-rtctrl" />
          <13extSubnet ip="192.3.2.0/24" scope="export-rtctrl"/>
          <13extSubnet ip="192.5.2.0/24" scope="export-rtctrl"/>
          <13extSubnet ip="64:ff9b::c007:200/120" scope="export-rtctrl" />
          <13extSubnet ip="0.0.0.0/0"
                                scope="export-rtctrl,import-security"
                                aggregate="export-rtctrl"
          <fvRsProv tnVzBrCPName="webCtrct"/>
      </13extInstP>
     <13extRsEctx tnFvCtxName="coke"/>
   </l3extOut>
   <fvAp name="cokeAp">
      <fra>fvAEPg name="cokeEPg" >
          <fvRsBd tnFvBDName="cokeBD" />
            <fvRsPathAtt tDn="topology/pod-1/paths-103/pathep-[eth1/20]" encap="vlan-100"
instrImedcy="immediate" mode="regular"/>
            <fre><fvRsCons tnVzBrCPName="webCtrct"/>
      </fvAEPg>
      <fra>fvAEPg name="cokeEPg2" >
          <fvRsBd tnFvBDName="cokeBD2" />
            <fvRsPathAtt tDn="topology/pod-1/paths-103/pathep-[eth1/20]" encap="vlan-110"
instrImedcy="immediate" mode="regular"/>
            <fvRsCons tnVzBrCPName="webCtrct"/>
      </fvAEPg>
    </fvAp>
    <!-- Non GOLF L3Out-->
    <13extOut name="NonGolfOut">
       <bapExt.P/>
       <13extLNodeP name="bLeaf">
           < ! --
           <13extRsNodeL3OutAtt tDn="topology/pod-1/node-101" rtrId="20.1.13.1"/>
           <13extRsNodeL3OutAtt tDn="topology/pod-1/node-101" rtrId="20.1.13.1">
           <13extLoopBackIfP addr="1.1.1.1"/>
           <ipRouteP ip="2.2.2.2/32" >
             <ipNexthopP nhAddr="20.1.12.3"/>
      </ipRouteP>
        </l></l></l></l></l><
           <13extLIfP name='portIfV4'>
            <13extRsPathL3OutAtt tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/17]" encap='vlan-1010'</pre>
```

```
ifInstT='sub-interface' addr="20.1.12.2/24">
              </l3extRsPathL3OutAtt>
          <13extLIfP name='portIfV6'>
            <13extRsPathL3OutAtt tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/17]" encap='vlan-1010'
ifInstT='sub-interface' addr="64:ff9b::1401:302/120">
                  <bqpPeerP addr="64:ff9b::1401:d03" ctrl="send-com, send-ext-com" />
              </l3extRsPathL3OutAtt>
          </13extITfP>
          <bgpPeerP addr="2.2.2.2" ctrl="as-override,disable-peer-as-check, send-com,send-ext-com"</pre>
status=""/>
      </l3extLNodeP>
      < ! --
        <bgpPeerP addr="2.2.2.2" ctrl="send-com, send-ext-com" status=""/>
        -->
      <13extInstP name="accountingInst">
          <l3extSubnet ip="192.10.0.0/16" scope="import-security,import-rtctrl" />
          <13extSubnet ip="192.3.3.0/24" scope="import-security,import-rtctrl" />
          <l3extSubnet ip="192.4.2.0/24" scope="import-security,import-rtctrl" />
          <13extSubnet ip="64:ff9b::c007:200/120" scope="import-security,import-rtctrl" />
          <l3extSubnet ip="192.2.2.0/24" scope="export-rtctrl" />
          <13extSubnet ip="0.0.0.0/0"
                                scope="export-rtctrl,import-rtctrl,import-security"
                               aggregate="export-rtctrl,import-rtctrl"
          />
      </l3extInstP>
      <13extRsEctx tnFvCtxName="coke"/>
  </fvTenant>
```

REST API を使用した BGP ネイバー シャットダウンおよびソフト リセットの設定

REST API を使用した BGP ネイバー シャットダウンの設定

次の手順では、REST API を使用して BGP ネイバーシャットダウン機能を使用する方法について説明します。

ステップ1 ノードおよびインターフェイスを設定します。

この例では、ノードプロファイル、nodep1、ルータ ID 11.11.11.103 を持つノード 103 (境界リーフスイッチ)上で、VRF v1 を設定します。. また、IP アドレス 12.12.12.1/24 およびレイヤ 3 ドメイン dom1 で、ルーテッド インターフェイス(レイヤ 3 ポート)としてインターフェイス eth1/3 を設定します。

```
</13extLNodeP>
<13extRsL3DomAtt tDn="uni/13dom-dom1"/>
</13extOut>
```

ステップ2 BGP ルーティング プロトコルを設定し、BGP ネイバー シャットダウン機能を設定します。

この例では、IP アドレス、15.15.15.2、ASN 100 を持つ BGP ピアで、プライマリ ルーティング プロトコルとして BGP を設定します。

adminSt 変数は、次のいずれかに設定できます。

- enabled: BGP ネイバーシャットダウン機能をイネーブルにします。
- disabled: BGP ネイバー シャットダウン機能を無効にします。

次の例では、BGP ネイバーシャットダウン機能がイネーブルになっています。

例:

REST API を使用した BGP ネイバー ソフト リセットの設定

次の手順では、REST API を使用して BGP ネイバー ソフト リセット機能を使用する方法について説明します。

ステップ1 ノードおよびインターフェイスを設定します。

この例では、ノードプロファイル、nodep1、ルータ ID 11.11.103 を持つノード 103 (境界リーフスイッチ)上で、VRF v1 を設定します。. また、IP P ドレス 12.12.12.12.124 およびレイヤ 3 ドメイン dom1 で、ルーテッドインターフェイス(レイヤ 3 ポート)としてインターフェイス eth1/3 を設定します。

例:

ステップ2 BGP ルーティング プロトコルを設定し、BGP ネイバー ソフト リセット機能を設定します。

この例では、IP アドレス、15.15.15.2、ASN 100 を持つ BGP ピアで、プライマリ ルーティング プロトコルとして BGP を設定します。

dir変数は、次のいずれかに設定できます。

- in:ソフトダイナミックインバウンドリセットを有効にします。
- out: ソフトアウトバウンドリセットを有効にします。

次の例では、ソフトダイナミックインバウンドリセットが有効になっています。

例:

```
<13extOut name="13out1">
    <13extLNodeP name="nodep1">
        <bgpPeerP addr="15.15.15.2">
            <bgpAsP asn="100"/>
            <bgpPeerEntryClearPeerLTask>
                 <attributes>
                     <mode>soft</mode>
                     <dir>in</dir>
                     <adminSt>start</adminSt>
                 </attributes>
                 <children/>
            </bgpPeerEntryClearPeerLTask>
        </bapPeerP>
    </l></l></l></l></l><
    <bgpExtP/>
</l3extOut>
```

REST API を使用した VRF ごと、ノード BGP ごとのタイマーの設定

次の例では、ノード内の VRF ごと、ノード BGP ごとのタイマーの設定方法を示します。 bgpProtP (13extLNodeP の下)を設定します。 bgpProtP の下で、目的とする関係 (bgpRsBgpNodeCtxPo1)を設定します。これは、BGP コンテキスト ポリシー (bgpCtxPo1) に対するものです。

node1 でノード固有の BGP タイマー ポリシーを設定し、node2 を、ノード固有ではない BGP タイマー ポリシーで設定します。

```
</l3extLNodeP>
<l3extLNodeP name="node2" >
</l3extLNodeP>
```

この例では、node1 は BGP タイマー値をポリシー po12 から取得し、node2 は BGP タイマー値を po11 から取得します。タイマー値は popDom に適用されますが、これは VRF po11 に対応しています。これは、 「VRF ごと、ノード popDom ごとのタイマーの値」のセクションで説明したアルゴリズムに従って選択された、popDom ポリシーに基づきます。

削除するノード BGP タイマーが REST API を使用してごとの VRF あたり

次の例では、ノード内で既存の VRF ごとの各ノード BGP タイマーを削除する方法を示します。

node1 で特定の BGP タイマー ポリシーのノードを削除します。

例:

```
POST https://apic-ip-address/mo.xml
<frvTenant name="tn1" >
   <bgpCtxPol name="pol1" staleIntvl="25" />
    <bgpCtxPol name="pol2" staleIntvl="35" />
    <fvCtx name="ctx1" >
      <fvRsBgpCtxPol tnBgpCtxPolName="pol1"/>
    </fvCt.x>
     <13extout name="out1" >
     <13extRsEctx toFvCtxName="ctx1" />
      <13extLNodeP name="node1" >
        <bgpProtP name="protp1" status="deleted" >
            <bgpRsBgpNodeCtxPol tnBgpCtxPolName="pol2" />
        </bapprotP>
      </l3extLNodeP>
      <13extLNodeP name="node2" >
      </l3extLNodeP>
```

上の例のコードフレーズ cbgpProtP name="protp1" status="deleted" > は、BGP タイマー ポリシーを削除 します。削除後、node1 が node1 が関連付けられている VRF の BGP タイマー ポリシーのデフォルト設定 になります。上の例では pol1 です。

REST API を使用したセカンダリ IP アドレスでの双方向フォワーディング検出の構成

次の例では、REST API を使用して、セカンダリ IP アドレスに Bidirectional Forwarding Detection (BFD) を構成します。

```
<13extLIfP
  dn="uni/tn-sec-ip-bfd/out-secip-bfd-l3out/lnodep-secip-bfd-l3out_nodeProfile/
  lifp-secip-bfd-l3out_interfaceProfile" name="secip-bfd-l3out_interfaceProfile"
  prio="unspecified" tag="yellow-green" userdom=":all:">
     <13extRsPathL3OutAtt addr="50.50.50.200/24" autostate="disabled"
        encap="vlan-2" encapScope="local" ifInstT="ext-svi" ipv6Dad="enabled"
        isMultiPodDirect="no" llAddr="::" mac="00:22:BD:F8:19:FF" mode="regular"
        mtu="inherit" tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/3]"</pre>
```

```
targetDscp="unspecified" userdom=":all:">
        <13extIp addr="9.9.9.1/24" ipv6Dad="enabled" userdom=":all:"/>
        <13extIp addr="6.6.6.1/24" ipv6Dad="enabled" userdom=":all:"/>
    </l3extRsPathL3OutAtt>
    <13extRsNdIfPol userdom="all"/>
    <l3extRsLIfPCustQosPol userdom="all"/>
    <l3extRsIngressQosDppPol userdom="all"/>
    <l3extRsEgressQosDppPol userdom="all"/>
    <13extRsArpIfPol userdom="all"/>
</13extITfP>
<ipRouteP aggregate="no"</pre>
 dn="uni/tn-sec-ip-bfd/out-secip-bfd-13out/lnodep-secip-bfd-13out nodeProfile/
 rsnodeL3OutAtt-[topology/pod-1/node-101]/rt-[6.0.0.1/24]"
  fromPfxLen="0" ip="6.0.0.1/24" pref="1" rtCtrl="bfd" toPfxLen="0" userdom=":all:">
    <ipNexthopP nhAddr="6.6.6.2" pref="unspecified" type="prefix" userdom=":all:"/>
</ipRouteP>
```

グローバル REST API を使用して BFD の設定

次の REST API は、(BFD) を双方向フォワーディング検出のグローバル コンフィギュレーションを示します。

例:

REST API を使用した BFD インターフェイスのオーバーライドの設定

次の REST API は、(BFD) を双方向フォワーディング検出のインターフェイスのオーバーライド コンフィギュレーションを示します。

```
</l3extOut> </fvTenant>
```

REST API を使用した BFD コンシューマ プロトコルの設定

ステップ1 次の例では、双方向の転送検出(BFD)のインターフェイス設定を示します。

例:

```
<frvTenant name="ExampleCorp">
  <bfdIfPol name="bfdIfPol" minTxIntvl="400" minRxIntvl="400" detectMult="5" echoRxIntvl="400"</pre>
echoAdminSt="disabled"/>
    <13extOut name="13-out">
        <13extLNodeP name="leaf1">
            <13extRsNodeL3OutAtt tDn="topology/pod-1/node-101" rtrId="2.2.2.2"/>
            <13extLIfP name='portIpv4'>
              <\lauxtRsPathL3OutAtt tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/11]" ifInstT='13-port'</pre>
addr="10.0.0.1/24" mtu="1500"/>
                <bfdIfP type="sha1" key="password">
                    <bfdRsIfPol tnBfdIfPolName='bfdIfPol'/>
                </bfdIfP>
            </l3extLIfP>
        </l></l></l></l></l><
    </fvTenant>
```

ステップ2次の例では、OSPF および EIGRP で BFD を有効にするためのインターフェイス設定を示します。

例·

リーフ スイッチ上の BFD

例:

スパイン スイッチ上の BFD

```
</l3extLIfP>
</l3extLNodeP>
```

ステップ3 次の例では、BGP上のBFDを有効にするためのインターフェイス設定を示します。

例:

```
<frvTenant name="ExampleCorp">
    <13extOut name="13-out">
        <13extLNodeP name="leaf1">
            <13extRsNodeL3OutAtt tDn="topology/pod-1/node-101" rtrId="2.2.2.2"/>
            <13extLIfP name='portIpv4'>
              <\lauxtRsPathL3OutAtt tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/11]" ifInstT='13-port'</pre>
addr="10.0.0.1/24" mtu="1500">
                  <bqpPeerP addr="4.4.4.4/24" allowedSelfAsCnt="3" ctrl="bfd" descr="" name=""</pre>
peerCtrl="" ttl="1">
                      <bgpRsPeerPfxPol tnBgpPeerPfxPolName=""/>
                      <bgpAsP asn="3" descr="" name=""/>
                  </bgpPeerP>
               </l3extRsPathL3OutAtt>
            </l3extLIfP>
        </l></l></l></l></l><
    </fvTenant>
```

ステップ4次の例では、スタティックルートでBFDを有効にするためのインターフェイス設定を示します。

例

リーフ スイッチ上の BFD

```
<fvTenant name="ExampleCorp">
   <13extOut name="13-out">
        <13extLNodeP name="leaf1">
            <13extRsNodeL3OutAtt tDn="topology/pod-1/node-101" rtrId="2.2.2.2">
              <ipRouteP ip="192.168.3.4" rtCtrl="bfd">
                <ipNexthopP nhAddr="192.168.62.2"/>
              </ipRouteP>
            </l3extRsNodeL3OutAtt>
            <13extLIfP name='portIpv4'>
             <13extRsPathL3OutAtt tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/3]" ifInstT='13-port'</pre>
addr="10.10.10.2/24" mtu="1500" status="created, modified" />
            </l3extLIfP>
        </l></l></l></l></l><
    </l3extOut>
</fvTenant>
例:
スパイン スイッチ上の BFD
<13extLNodeP name="bSpine">
             <13extRsNodeL3OutAtt tDn="topology/pod-1/node-103" rtrId="192.3.1.8">
              <ipRouteP ip="0.0.0.0" rtCtrl="bfd">
                <ipNexthopP nhAddr="192.168.62.2"/>
              </ipRouteP>
             </l3extRsNodeL3OutAtt>
```

ステップ5 次の例では、IS-IS で BFD を有効にするためのインターフェイス設定を示します。

```
<fabricInst>
         <13IfPol name="testL3IfPol" bfdIsis="enabled"/>
             <fabricLeafP name="LeNode" >
 <fabricRsLePortP tDn="uni/fabric/leportp-leaf profile" />
<fabricLeafS name="spsw" type="range">
<fabricNodeBlk name="node101" to ="102" from ="101" />
</fabricLeafS>
           </fabricLeafP>
          <fabricSpineP name="SpNode" >
<fabricRsSpPortP tDn="uni/fabric/spportp-spine_profile" />
<fabricSpineS name="spsw" type="range">
     <fabricNodeBlk name="node103" to ="103" from ="103" />
</fabricSpineS>
         </fabricSpineP>
          <fabricLePortP name="leaf profile">
<fabricLFPortS name="leafIf" type="range">
<fabricPortBlk name="spBlk" fromCard="1" fromPort="49" toCard="1" toPort="49" />
      <fabricRsLePortPGrp tDn="uni/fabric/funcprof/leportgrp-LeTestPGrp" />
</fabricLFPortS>
        </fabricLePortP>
      <fabricSpPortP name="spine profile">
<fabricSFPortS name="spineIf" type="range">
      <fabricPortBlk name="spBlk" fromCard="5" fromPort="1" toCard="5" toPort="2" />
      <fabricRsSpPortPGrp tDn="uni/fabric/funcprof/spportgrp-SpTestPGrp" />
</fabricSFPortS>
     </fabricSpPortP>
<fabricFuncP>
                <fabricLePortPGrp name = "LeTestPGrp">
<fabricRsL3IfPol tnL3IfPolName="testL3IfPol"/>
               </fabricLePortPGrp>
            <fabricSpPortPGrp name = "SpTestPGrp">
<fabricRsL3IfPol tnL3IfPolName="testL3IfPol"/>
          </fabricSpPortPGrp>
</fabricFuncP>
</fabricInst>
```

REST API を使用した OSPF 外部ルーテッド ネットワークの設定

REST API を使用した管理テナントの OSPF 外部ルーテッド ネットワークの作成

- ルータ ID と論理インターフェイス プロファイルの IP アドレスが異なっていて重複していないことを確認します。
- 次の手順は、管理テナントのOSPF外部ルーテッドネットワークを作成するためのものです。テナントのOSPF外部ルーテッドネットワークを作成するには、テナントを選択し、テナント用の VRF を作成する必要があります。
- •詳細については、『Cisco APIC and Transit Routing』を参照してください。

管理テナントの OSPF 外部ルーテッド ネットワークを作成します。

```
POST: https://apic-ip-address/api/mo/uni/tn-mgmt.xml
<frvTenant name="mgmt">
   <fvBD name="bd1">
     <fre><fvRsBDToOut tnL3extOutName="RtdOut" />
     <fvSubnet ip="1.1.1.1/16" />
     <fvSubnet ip="1.2.1.1/16" />
     <fvSubnet ip="40.1.1.1/24" scope="public" />
     <fre><fvRsCtx tnFvCtxName="inb" />
   </fvBD>
   <fvCtx name="inb" />
   <13extOut name="RtdOut">
      <l3extRsL3DomAtt tDn="uni/l3dom-extdom"/>
      <l3extInstP name="extMomt">
      </l3extInstP>
      <13extLNodeP name="borderLeaf">
        <13extRsNodeL3OutAtt tDn="topology/pod-1/node-101" rtrId="10.10.10.10"/>
         <13extRsNodeL3OutAtt tDn="topology/pod-1/node-102" rtrId="10.10.10.11"/>
        <13extLIfP name='portProfile'>
           <\lauxtRsPathL3OutAtt tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/40]" ifInstT='13-port'</pre>
addr="192.168.62.1/24"/>
           <\lambda 2 / pathe - [eth1/40] if InstT='13-port'</pre>
addr="192.168.62.5/24"/>
            <ospfIfP/>
                                </13ext.I.TfP>
     </l3extLNodeP>
     <13extRsEctx tnFvCtxName="inb"/>
     <ospfExtP areaId="57" />
   </l3extOut>
</fvTenant>
```

REST API を使用した EIGRP 外部ルーテッド ネットワークの設定

REST API を使用した EIGRP の設定

ステップ1 EIGRP コンテキスト ポリシーを設定します。

```
例:
```

ステップ2 EIGRP インターフェイス ポリシーを設定します。

```
例:
```

ステップ3 EIGRP VRF.を設定します。

例:

```
IPv4:
```

<polUni>

ステップ4 外部の EIGRP Layer3 を設定します。

例:

IPv4

```
<polUni>
     <fvTenant name="cisco_6">
          <13extOut name="ext">
          <eigrpExtP asn="4001"/>
```

```
<13extLNodeP name="node1">
                           <13extLIfP name="intf v4">
                               <l3extRsPathL3OutAtt addr="201.1.1.1/24" ifInstT="13-port"</pre>
                                  tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/4]"/>
                               <eigrpIfP name="eigrp_ifp_v4">
                                    <eigrpRsIfPol tnEigrpIfPolName="eigrp if pol v4"/>
                               </eigrpIfP>
                           </l3extLIfP>
                       </l></l></l></l></l><
                   </13ext0ut>
               </fvTenant>
           </polUni>
           IPv6
           <polUni>
               <frvTenant name="cisco 6">
                   <13extOut name="ext">
                       <eigrpExtP asn="4001"/>
                       <13extLNodeP name="node1">
                           <13extLIfP name="intf v6">
                               <13extRsPathL3OutAtt addr="2001::1/64" ifInstT="13-port"</pre>
                                 tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/4]"/>
                               <eigrpIfP name="eigrp_ifp_v6">
                                   <eigrpRsIfPol tnEigrpIfPolName="eigrp if pol v6"/>
                               </eigrpIfP>
                           </13extLTfP>
                       </l></l></l></l></l><
                   </fvTenant>
           </polUni>
           IPv4 および IPv6
           <polUni>
               <frvTenant name="cisco 6">
                   <13extOut name="ext">
                       <eigrpExtP asn="4001"/>
                       <13extLNodeP name="node1">
                           <13extLIfP name="intf_v4">
                               <l3extRsPathL3OutAtt addr="201.1.1.1/24" ifInstT="13-port"</pre>
                                  tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/4]"/>
                               <eigrpIfP name="eigrp_ifp_v4">
                                    <eigrpRsIfPol tnEigrpIfPolName="eigrp if pol v4"/>
                               </eigrpIfP>
                           </l3extLIfP>
                           <13extLIfP name="intf v6">
                               <13extRsPathL3OutAtt addr="2001::1/64" ifInstT="13-port"</pre>
                                 tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/4]"/>
                               <eigrpIfP name="eigrp_ifp_v6">
                                   <eigrpRsIfPol tnEigrpIfPolName="eigrp_if_pol_v6"/>
                               </eigrpIfP>
                           </13extITfP>
                       </l></l></l></l></l><
                   </l3extOut>
               </fvTenant>
           </polUni>
ステップ5 (任意) インターフェイス ポリシー ノブを設定します。
           例:
           <polUni>
               <frvTenant name="cisco_6">
```

REST API を使用したルート集約の設定

BGP、OSPF、および REST API を使用して EIGRP のルート集約の設定

ステップ1 次のように、REST API を使用して BGP ルート集約を設定します。

例:

```
<fre><fvTenant name="common">
           <fvCtx name="vrf1"/>
   <bgpRtSummPol name="bgp rt summ" cntrl='as-set'/>
   <l3extOut name="13_ext_pol" >
             <13extLNodeP name="bLeaf">
                <13extRsNodeL3OutAtt tDn="topology/pod-1/node-101" rtrId="20.10.1.1"/>
              <13extLIfP name='portIf'>
             <l3extRsPathL3OutAtt tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/31]" ifInstT='13-port'</pre>
addr="10.20.1.3/24/>
              </l3extLIfP>
           </l3extLNodeP>
         <bgpExtP />
           <13extInstP name="InstP" >
         <l3extSubnet ip="10.0.0.0/8" scope="export-rtctrl">
           <13extRsSubnetToRtSumm tDn="uni/tn-common/bqprtsum-bqp rt summ"/>
           <l3extRsSubnetToProfile tnRtctrlProfileName="rtprof"/>
         </l3extSubnet>
       </l3extInstP>
       <13extRsEctx tnFvCtxName="vrf1"/>
   </l3extOut>
</fr></free/fvTenant.>
```

ステップ2次の REST API を使用して、OSPF のエリア間および外部の集約を設定します。

```
<13extLIfP name="intf-1">
                   <13extRsPathL3OutAtt addr="20.1.5.2/24" encap="vlan-1001" ifInstT="sub-interface"</pre>
tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/33]"/>
               </l></l></l></l></l><
          <13extInstP name="13InstP1">
               <fre><fre serior <fre serior <fre><fre serior <fre serior <fre serior <fre serior <fre serior <fre serior <fre><fre serior <fre serior <fre serior <fre serior <fre><fre serior <fre><fre serior <fre serior <fre serior <fre><fre serior <fre serior <fre serior <fre serior <fre serior <fre serior <fre><fre serior <fre se
              <!--Ospf External Area route summarization-->
              <13extSubnet aggregate="" ip="193.0.0.0/8" name="" scope="export-rtctrl">
                    <l3extRsSubnetToRtSumm tDn="uni/tn-t20/ospfrtsumm-ospfext"/>
               </l3extSubnet>
          </l3extInstP>
         <ospfExtP areaCost="1" areaCtrl="redistribute,summary" areaId="backbone" areaType="regular"/>
     </l3extOut>
     <!-- L3OUT Regular Area-->
    <13extOut enforceRtctrl="export" name="13 2">
          <13extRsEctx tnFvCtxName="ctx0"/>
         <13extLNodeP name="node-101">
               <13extRsNodeL3OutAtt rtrId="20.1.3.2" rtrIdLoopBack="no" tDn="topology/pod-1/node-101"/>
               <13extLIfP name="intf-2">
                   <l3extRsPathL3OutAtt addr="20.1.2.2/24" encap="vlan-1014" ifInstT="sub-interface"</pre>
tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/11]"/>
               </13ext.INodeP>
          <13extInstP matchT="AtleastOne" name="13InstP2">
              <fre><fvRsCons tnVzBrCPName="default"/>
              <!--Ospf Inter Area route summarization-->
              <13extSubnet aggregate="" ip="197.0.0.0/8" name="" scope="export-rtctrl">
                   <13extRsSubnetToRtSumm tDn="uni/tn-t20/ospfrtsumm-interArea"/>
               </l3extSubnet>
          </l3extInstP>
          <ospfExtP areaCost="1" areaCtrl="redistribute, summary" areaId="0.0.0.57" areaType="regular"/>
     </l3extOut>
</fvTenant>
```

ステップ3 次の REST API を使用して EIGRP の集約を設定します。

例:

(注) EIGRP を設定するルート集約ポリシーはありません。EIGRP の集約を有効にするために必要なだけの設定では、サマリー サブネット、InstP でです。

REST API を使用したルート マップおよびルート プロファイルによるルート制御の設定

REST API を使用した BGP ピアごとのルート制御の設定

次の手順では、REST API を使用して BGP ピア単位のルート制御を設定する方法について説明します。

BGPピアごとのルート制御機能を設定します。

ここで、

- direction="import" は、ルートインポート ポリシー (ファブリックに許可されるルート)です。
- **direction="export"**は、ルートエクスポートポリシー(外部ネットワークからアドバタイズされるルート)です。

```
<polUni>
   <frvTenant name="t1">
      <fvCtx name="v1"/>
       <13extOut name="13out1">
           <13extRsEctx tnFvCtxName="v1"/>
           <13extLNodeP name="nodep1">
               <13extRsNodeL3OutAtt rtrId="11.11.11.103" tDn="topology/pod-1/node-103"/>
               <13extLIfP name="ifp1">
                   <l3extRsPathL3OutAtt addr="12.12.12.3/24" ifInstT="13-port"</pre>
tDn="topology/pod-1/paths-103/pathep-[eth1/3]"/>
               </l3extLIfP>
               <bgpPeerP addr="15.15.15.2">
                   <bgpAsP asn="100"/>
                   <bgpRsPeerToProfile direction="export" tnRtctrlProfileName="rp1"/>
               </bgpPeerP>
            </l></l></l></l></l><
            <13extRsL3DomAtt tDn="uni/13dom-dom1"/>
            <bqpExtP/>
            <ospfExtP areaId="0.0.0.0" areaType="regular"/>
            <13extInstP name="extnw1" >
                <13extSubnet ip="20.20.20.0/24" scope="import-security"/>
            </l3extInstP>
        </13ext.Out.>
        <rtctrlProfile name="rp1">
            <rtctrlCtxP name="ctxp1" action="permit" order="0">
                <rtctrlScope>
                    <rtctrlRsScopeToAttrP tnRtctrlAttrPName="attrp1"/>
                </rtctrlScope>
                <rtctrlRsCtxPToSubjP tnRtctrlSubjPName="match-rule1"/>
            </rtctrlCtxP>
        </rtctrlProfile>
        <rtctrlSubjP name="match-rule1">
            <rtctrlMatchRtDest ip="200.3.2.0/24"/>
        </rtctrlSubiP>
        <rtctrlAttrP name="attrp1">
            <rtctrlSetASPath criteria="prepend">
                <rtctrlSetASPathASN asn="100" order="2"/>
```

REST API を使用して、明示的なプレフィックス リストでルート マップ/プロファイルの 設定

始める前に

・テナントと VRF を設定する必要があります。

明示的なプレフィックス リストを使用してルート マップ/プロファイルを設定します。

(注) 以下の太字のエントリは、APIC リリース 4.2(3) 以降で使用可能な一致プレフィックスの拡張機能です。これらのフィールドの詳細については、一致プレフィックスの機能拡張を参照してください。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<frvTenant name="PM" status="">
   <rtctrlAttrP name="set dest">
      <rtctrlSetComm community="regular:as2-nn2:5:24" />
   </rtctrlAttrP>
   <rtctrlSubjP name="allow dest">
      <rtctrlMatchRtDest ip="192.169.0.0/24" aggregate="yes" fromPfxLen="26" toPfxLen="30" />
      <rtctrlMatchCommTerm name="term1">
         <rtctrlMatchCommFactor community="regular:as2-nn2:5:24" status="" />
         <rtctrlMatchCommFactor community="regular:as2-nn2:5:25" status="" />
      </rtctrlMatchCommTerm>
      <rtctrlMatchCommRegexTerm commType="regular" regex="200:*" status="" />
   </rtctrlSubjP>
   <rtctrlSubjP name="deny dest">
      <rtctrlMatchRtDest ip="192.168.0.0/24" />
   </rtctrlSubjP>
   <fvCtx name="ctx" />
   <13extOut name="L3Out 1" enforceRtctrl="import,export" status="">
      <13extRsEctx tnFvCtxName="ctx" />
      <13extLNodeP name="bLeaf">
         <13extRsNodeL3OutAtt tDn="topology/pod-1/node-101" rtrId="1.2.3.4" />
         <13extLIfP name="portIf">
            <13extRsPathL3OutAtt tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/25]"</pre>
ifInstT="sub-interface" encap="vlan-1503" addr="10.11.12.11/24" />
            <ospfIfP />
         </l3extLIfP>
         <bgpPeerP addr="5.16.57.18/32" ctrl="send-com" />
         <bgpPeerP addr="6.16.57.18/32" ctrl="send-com" />
      </l></l></l></l></l><
      <bgpExtP />
      <ospfExtP areaId="0.0.0.59" areaType="nssa" status="" />
      <13extInstP name="13extInstP 1" status="">
         <l3extSubnet ip="17.11.1.11/24" scope="import-security" />
      </l3extInstP>
```

```
<rtctrlProfile name="default-export" type="global" status="">
        <rtctrlCtxP name="ctx deny" action="deny" order="1">
           <rtctrlRsCtxPToSubjP tnRtctrlSubjPName="deny dest" status="" />
        </rtctrlCtxP>
        <rtctrlCtxP name="ctx allow" order="2">
           <rtctrlRsCtxPToSubjP tnRtctrlSubjPName="allow dest" status="" />
        </rtctrlCtxP>
        <rtctrlScope name="scope" status="">
           <rtctrlRsScopeToAttrP tnRtctrlAttrPName="set dest" status="" />
        </rtctrlScope>
     </rtctrlProfile>
  <fvBD name="testBD">
     <fvRsBDToOut tnL3extOutName="L3Out 1" />
     <fvRsCtx tnFvCtxName="ctx" />
     <fvSubnet ip="40.1.1.12/24" scope="public" />
     <fvSubnet ip="40.1.1.2/24" scope="private" />
     <fvSubnet ip="2003::4/64" scope="public" />
  </fvBD>
</fvTenant>
```

REST API を使用した、インポート制御とエクスポート制御によるルーティング制御プロトコルの設定

この例では、ネットワーク接続 BGP を使用して外部レイヤ3 が設定されていることを前提としています。OSPF を使用してネットワークを次のタスクを実行することもできます。

始める前に

- テナント、プライベートネットワーク、およびブリッジドメインが作成されていること。
- ・レイヤ 3 Outside テナント ネットワークが設定されていること。

インポート制御とエクスポート制御を使用するルート制御プロトコルを設定します。

```
<13extOut descr="" dn="uni/tn-Ten ND/out-L3Out1" enforceRtctrl="export" name="L3Out1" ownerKey=""
ownerTag="" targetDscp="unspecified">
       <13extLNodeP descr="" name="LNodeP1" ownerKey="" ownerTag="" tag="yellow-green"
targetDscp="unspecified">
           <13extRsNodeL3OutAtt rtrId="1.2.3.4" rtrIdLoopBack="yes" tDn="topology/pod-1/node-101">
               <13extLoopBackIfP addr="2000::3" descr="" name=""/>
           </l3extRsNodeL3OutAtt>
           <13extLIfP descr="" name="IFP1" ownerKey="" ownerTag="" tag="yellow-green">
               <ospfIfP authKeyId="1" authType="none" descr="" name="">
                   <ospfRsIfPol tnOspfIfPolName=""/>
               </ospfIfP>
               <13extRsNdIfPol tnNdIfPolName=""/>
             <13extRsPathL3OutAtt addr="10.11.12.10/24" descr="" encap="unknown" ifInstT="13-port"
llAddr="::" mac="00:22:BD:F8:19:FF" mtu="1500" tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/17]"
targetDscp="unspecified"/>
```

```
</l></l></l></l></l><
        <13extRsEctx tnFvCtxName="PVN1"/>
        <13extInstP descr="" matchT="AtleastOne" name="InstP1" prio="unspecified"
targetDscp="unspecified">
            <fre><fvRsCustQosPol tnQosCustomPolName=""/>
            <13extSubnet aggregate="" descr="" ip="192.168.1.0/24" name="" scope=""/>
        </l3extInstP>
        <ospfExtP areaCost="1" areaCtrl="redistribute,summary" areaId="0.0.0.1" areaType="nssa"</pre>
descr=""/>
        <rtctrlProfile descr="" name="default-export" ownerKey="" ownerTag="">
            <rtctrlCtxP descr="" name="routecontrolpvtnw" order="3">
                <rtctrlScope descr="" name="">
                    <rtctrlRsScopeToAttrP tnRtctrlAttrPName="actionruleprofile2"/>
                </rtctrlScope>
            </rtctrlCtxP>
        </rtctrlProfile>
    </l3extOut>
```

REST API を使用したインターリーク再配布の設定

次の手順では、REST API を使用してインターリーク再配布を設定する方法について説明します。

始める前に

テナント、VRF、および L3Out を作成します。

ステップ1 インターリーク再配布のルートマップを設定します。

例:

次の例では、2つのコンテキスト(ROUTES_A および ROUTES_ALL)を使用してルートマップ INTERLEAK_RP を設定します。最初のコンテキスト ROUTES_A は、IP プレフィックスリスト 10.0.0.0/24 le 32 と一致し、set rule COM_A を介してコミュニティ属性を設定します。2番目のコンテキストは、すべてのルートと一致します。

```
POST: https://<APIC IP>/api/mo/uni.xml
BODY:
<fvTenant dn="uni/tn-SAMPLE">
    <!-- route map with two contexts (ROUTES A and ROUTES ALL) -->
    <rtctrlProfile type="global" name="INTERLEAK RP">
        <rtctrlCtxP name="ROUTES A" order="0" action="permit">
            <rtctrlRsCtxPToSubjP tnRtctrlSubjPName="PFX_10-0-0-0_24"/>
            <rtctrlScope>
                <rtctrlRsScopeToAttrP tnRtctrlAttrPName="COM A"/>
            </rtctrlScope>
        </rtctrlCtxP>
        <rtctrlCtxP name="ROUTES ALL" order="9" action="permit">
            <rtctrlRsCtxPToSubjP tnRtctrlSubjPName="ALL PREFIX"/>
        </rtctrlCtxP>
    </rtctrlProfile>
    <!-- match rule with an IP prefix-list -->
    <rtctrlSubjP name="ALL PREFIX">
        <rtctrlMatchRtDest ip="0.0.0.0/0" aggregate="yes"/>
    </rtctrlSubjP>
```

ステップ2 設定されたルートマップをL3Out に適用します。

次の例では、ステップ 1 のルート マップを L3Out 13out1 に適用して、特定の L3Out からのルートのイン ターリーク再配布をカスタマイズします。

L3extRsInterleakPol は、特定のL3Out によって使用されるダイナミック ルーティング プロトコル (OSPF/EIGRP) ルートに適用されます。L3extRsRedistributePol は、src 属性(static)で指定されたスタティック ルートに適用されます。

例:

REST API を使用したトランジット ルーティングの設定

REST API を使用したトランジット ルーティングの設定

次の手順では、テナントのトランジットルーティングを設定する方法を説明します。この例では、別のルータにそれぞれ接続された2つの境界リーフスイッチで、1つのVRF内に2つのL3Outを展開します。

始める前に

- ・ノード、ポート、AEP、機能プロファイル、レイヤ3ドメインを設定します。
- 外部ルーテッドドメインを作成し、L3Outのインターフェイスに関連付けます。
- ファブリック内でルートを伝播させるために、BGP ルート リフレクタ ポリシーを設定します。

ステップ1 テナントおよび VRF を設定します。

この例ではテナント t1 および VRF v1 を設定します。VRF はまだ展開されていません。

例:

```
<fre><fvTenant name="t1">
        <fvCtx name="v1"/>
        </fvTenant>
```

ステップ2 ノードおよびインターフェイスを設定します。

この例では、2 つの境界リーフスイッチで、テナントt1 と VRFv1 に 2 つの L3Outs を設定します。VRF は、レイヤ 3 ドメイン dom1 です。

- 最初の L3Out はノード 101 上にあり、nodep1 という名前です。ノード 101 はルータ ID 11.11.11.103 で設定されます。ルーテッドインターフェイス ifp1 が eth1/3 にあり、IP アドレス 12.12.12.3/24 です。
- •2番目のL3Out が ノード 102 上にあり、nodep2 という名前です。ノード 102 はルータ ID 22.22.22.203 に設定されています。IP アドレス、23.23.23.1/24 を持つ eth1/3 でルーテッドインターフェイス ifp2 があります。

例:

```
<13extOut name="13out1">
    <13extRsEctx tnFvCtxName="v1"/>
    <13extLNodeP name="nodep1">
        <13extRsNodeL3OutAtt rtrId="11.11.11.103" tDn="topology/pod-1/node-101"/>
        <13extLIfP name="ifp1"/>
       <13extRsPathL3OutAtt addr="12.12.12.3/24" ifInstT="13-port"</pre>
tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/3]"/>
        13ext.LNodeP>
    <l3extRsL3DomAtt tDn="uni/l3dom-dom1"/>
</l3extOut>
<13extOut name="13out2">
   <13extRsEctx tnFvCtxName="v1"/>
   <13extLNodeP name="nodep2">
        <13extRsNodeL3OutAtt rtrId="22.22.22.203" tDn="topology/pod-1/node-102"/>
        <13extLIfP name="ifp2"/>
        <l3extRsPathL3OutAtt addr="23.23.23.3/24" ifInstT="13-port"</pre>
tDn="topology/pod-1/paths-102/pathep-[eth1/3]"/>
        </l></l></l></l></l><
    <l3extRsL3DomAtt tDn="uni/l3dom-dom1"/>
</l3extOut>
```

ステップ3 両方の境界リーフ スイッチのルーティング プロトコルを設定します。

この例では、両方の境界リーフスイッチに対して、ASN 100 でプライマリルーティング プロトコルとして BGP を設定します。BGP ピア 15.15.15.2 を持つノード 101 と BGP ピア 25.25.25.2 を持つノード102を設定します。

```
<13extOut name="l3out1">

<13extLNodeP name="nodep1">

<bgpPeerP addr="15.15.15.2/24"

<bgpAsP asn="100"/>

</bgpPeerP>

</13extLNodeP>
```

ステップ4接続ルーティングプロトコルを設定します。

この例では、定期的なエリア ID 0.0.0.0 で両方の L3Outs に対して通信プロトコルとして OSPF を設定します。

例:

```
<13extOut name="13out1">
   <ospfExtP areaId="0.0.0.0" areaType="regular"/>
    <13extLNodeP name="nodep1">
       <13extLIfP name="ifp1">
            <ospfIfP/>
        <13extIfP>
    <13extLNodeP>
</l3extOut>
<13extOut name="13out2">
    <ospfExtP areaId="0.0.0.0" areaType="regular"/>
    <13extLNodeP name="nodep2">
        <13extLIfP name="ifp2">
            <ospfIfP/>
        <13extIfP>
   <13ext.LNodeP>
</l3extOut>
```

ステップ5 外部 EPG を設定します。

この例では、ノード 101 上の外部ネットワーク extnw1 としてネットワーク 192.168.1.0/24 と、ノード 102 上の外部ネットワーク extnw2 として 192.168.2.0/24 を設定します。また、ルート制御プロファイル rp1 および rp2.と外部 EPG を関連付けます。

例:

ステップ6 オプション。ルートマップを設定します。

この例では、インバウンドおよびアウトバウンド方向で各BGPピアのルートマップを設定します。L3out1では、ルートマップ rp1 が 192.168.1.0/24 のインポート宛先に一致するルートに適用され、ルートマップ rp2 が 192.168.2.0/24 のエクスポート宛先に一致するルートに適用されます。L3out2 では、ルートマップの方向を反転します。

例:

```
<fvTenant name="t1">
   <rtctrlSubjP name="match-rule1">
        <rtctrlMatchRtDest ip="192.168.1.0/24" />
   </rtctrlSubiP>
    <rtctrlSubjP name="match-rule2">
        <rtctrlMatchRtDest ip="192.168.2.0/24" />
    </rtctrlSubjP>
    <13extOut name="13out1">
        <rtctrlProfile name="rp1">
            <rtctrlCtxP name="ctxp1" action="permit" order="0">
                <rtctrlRsCtxPToSubjP tnRtctrlSubjPName="match-rule1" />
            </rtctrlCtxP>
        </rtctrlProfile>
        <rtctrlProfile name="rp2">
            <rtctrlCtxP name="ctxp1" action="permit" order="0">
                <rtctrlRsCtxPToSubjP tnRtctrlSubjPName="match-rule2" />
            </rtctrlCtxP>
        </rtctrlProfile>
        <13extInstP name="extnw1">
            <13extRsInstPToProfile direction="import" tnRtctrlProfileName="rp1" />
            <13extRsInstPToProfile direction="export" tnRtctrlProfileName="rp2" />
        </l3extInstP>
    </13ext0ut>
    <13extOut name="13out2">
        <rtctrlProfile name="rp1">
            <rtctrlCtxP name="ctxp1" action="permit" order="0">
                <rtctrlRsCtxPToSubjP tnRtctrlSubjPName="match-rule1" />
            </rtctrlCtxP>
        </rtctrlProfile>
        <rtctrlProfile name="rp2">
            <rtctrlCtxP name="ctxp1" action="permit" order="0">
                <rtctrlRsCtxPToSubjP tnRtctrlSubjPName="match-rule2" />
            </rtctrlCtxP>
        </rtctrlProfile>
        <13extInstP name="extnw2">
            <13extRsInstPToProfile direction="import" tnRtctrlProfileName="rp2" />
            <l3extRsInstPToProfile direction="export" tnRtctrlProfileName="rp1" />
        </l3extInstP>
    </l3extOut>
</fvTenant>
```

ステップ 7 フィルタおよびコントラクトを作成し、EPG が通信できるようにします。

この例では、フィルタ http-filter とコントラクト httpctrct を設定します。外部 EPG およびアプリケーション EPG は、それぞれプロバイダおよびコンシューマとして、すでにコントラクト httpctrct と関連付けられています。

例:

ステップ8 コントラクトと外部 EPG を関連付けます。

この例では、外部 EPG extnw1 をプロバイダとして、外部 EPG extnw2 をコントラクト httpCtrct のコンシューマとして関連付けます。

REST API の例: 中継ルーティング

次の例では、REST API を使用して、2 つの境界リーフ スイッチで 2 つの L3Outs を設定します。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<!-- api/policymgr/mo/.xml -->
<polUni>
    <fre><fvTenant name="t1">
        <fvCtx name="v1"/>
        <13extOut name="13out1">
            <13extRsEctx tnFvCtxName="v1"/>
            <13extLNodeP name="nodep1">
                <bgpPeerP addr="15.15.15.2/24">
                    <bgpAsP asn="100"/>
                </bgpPeerP>
              <l3extRsNodeL3OutAtt rtrId="11.11.11.103" tDn="topology/pod-1/node-101"/>
                <13extLIfP name="ifp1">
                    <l3extRsPathL3OutAtt addr="12.12.12.3/24" ifInstT="13-port"</pre>
tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/3]" />
                    <ospfIfP/>
                </l3extLIfP>
            </l></l></l></l></l><
            <13extInstP name="extnw1">
                <13extSubnet ip="192.168.1.0/24" scope="import-security"/>
                <13extRsInstPToProfile direction="import" tnRtctrlProfileName="rp1"/>
                <13extRsInstPToProfile direction="export" tnRtctrlProfileName="rp2"/>
                <fvRsProv tnVzBrCPName="httpCtrct"/>
            </l3extInstP>
            <bqpExtP/>
            <ospfExtP areaId="0.0.0.0" areaType="regular"/>
            <l3extRsL3DomAtt tDn="uni/13dom-dom1"/>
            <rtctrlProfile name="rp1">
                <rtctrlCtxP name="ctxp1" action="permit" order="0">
                    <rtctrlRsCtxPToSubjP tnRtctrlSubjPName="match-rule1"/>
                </rtctrlCtxP>
            </rtctrlProfile>
            <rtctrlProfile name="rp2">
                <rtctrlCtxP name="ctxp1" action="permit" order="0">
                    <rtctrlRsCtxPToSubjP tnRtctrlSubjPName="match-rule2"/>
                </rtctrlCtxP>
            </rtctrlProfile>
        </13ext.Out.>
        <13extOut name="13out2">
            <13extRsEctx tnFvCtxName="v1"/>
```

```
<13extLNodeP name="nodep2">
                <bgpPeerP addr="25.25.25.2/24">
                    <bgpAsP asn="100"/>
                </bgpPeerP>
                <13extRsNodeL3OutAtt rtrId="22.22.22.203" tDn="topology/pod-1/node-102"
 />
                <13extLIfP name="ifp2">
                    <13extRsPathL3OutAtt addr="23.23.23.3/24" ifInstT="13-port"</pre>
tDn="topology/pod-1/paths-102/pathep-[eth1/3]" />
                    <ospfIfP/>
                </l3extLIfP>
            </l></l></l></l></l><
            <13extInstP name="extnw2">
                <l3extSubnet ip="192.168.2.0/24" scope="import-security"/>
                <13extRsInstPToProfile direction="import" tnRtctrlProfileName="rp2"/>
                <l3extRsInstPToProfile direction="export" tnRtctrlProfileName="rp1"/>
                <fvRsCons tnVzBrCPName="httpCtrct"/>
            </l3extInstP>
            <bqpExtP/>
            <ospfExtP areaId="0.0.0.0" areaType="regular"/>
            <13extRsL3DomAtt tDn="uni/13dom-dom1"/>
            <rtctrlProfile name="rp1">
                <rtctrlCtxP name="ctxp1" action="permit" order="0">
                    <rtctrlRsCtxPToSubjP tnRtctrlSubjPName="match-rule1"/>
                </rtctrlCtxP>
            </rtctrlProfile>
            <rtctrlProfile name="rp2">
                <rtctrlCtxP name="ctxp1" action="permit" order="0">
                    <rtctrlRsCtxPToSubjP tnRtctrlSubjPName="match-rule2"/>
                </rtctrlCtxP>
            </rtctrlProfile>
        </l3extOut>
        <rtctrlSubjP name="match-rule1">
            <rtctrlMatchRtDest ip="192.168.1.0/24"/>
        </rtctrlSubiP>
        <rtctrlSubjP name="match-rule2">
            <rtctrlMatchRtDest ip="192.168.2.0/24"/>
        </rtctrlSubiP>
        <vzFilter name="http-filter">
            <vzEntry name="http-e" etherT="ip" prot="tcp"/>
        </vzFilter>
        <vzBrCP name="httpCtrct" scope="context">
            <vzSubj name="subj1">
                <vzRsSubjFiltAtt tnVzFilterName="http-filter"/>
            </vzSubj>
        </vzBrCP>
    </fvTenant>
</polUni>
```

共有 L30ut

REST API を使用した共有サービスの設定

共有設定の2つのレイヤ REST API を使用して2つの Vrfに3が記録されます。

2つの方法が表示されますが、2つのVrfにレイヤ3が記録されるを共有する次のREST API の設定例は次の通信します。

ステップ1 プロバイダーレイヤ3を設定します。

例:

ステップ2 レイヤ3 Out コンシューマを設定します。

例:

REST API を使用した L30ut の QoS の設定

REST API を使用した L30ut での QoS ディレクトリの設定

この章では L3Out で QoS ディレクトリを設定する方法について説明します。これは、リリース 4.0(1) 以降の L3Out QoS の推奨設定方法です。Cisco APIC

次のオブジェクトの内の1つでL3OutのQoSを設定できます。

- Switch Virtual Interface (SVI)
- サブインターフェイス
- 外部ルーテッド

ステップ1 L3Out SVI に QoS プライオリティを設定します。

ステップ2 サブインターフェイスに OoS プライオリティを設定します。

例:

ステップ3 外部ルーテッドに QoS プライオリティを設定します。

例:

REST API を使用した L30ut の QoS コントラクトの設定

この項では、コントラクトを使用して L3Out の QoS を設定する方法について説明します。



(注)

リリース 4.0(1) 以降では、L3Out QoS 用にカスタム QoS ポリシーを使用することを推奨しています。REST API を使用した L3Out での QoS ディレクトリの設定 (59 ページ) で説明しています。

ステップ1 テナント、VRF、ブリッジドメインを設定する場合、ポリシー適用が有効になっている状態で、出力モードに VRF を設定します(pcEnfDir="egress)。次の例のように XML で post を送信します。

例:

```
<fvTenant name="t1">
    <fvCtx name="v1" pcEnfPref="enforced" pcEnfDir="egress"/>
    <fvBD name="bd1">
        <fvRsCtx tnFvCtxName="v1"/>
        <fvSubnet ip="44.44.44.1/24" scope="public"/>
        <fvRsBDToOut tnL3extOutName="l3out1"/>
        </fvBD>"/>
</fvTenant>
```

ステップ2 通信のため L3Out に参加して EPG を有効にする契約を作成するときは、優先順位の QoS を設定します。

この例のコントラクトには、L3Out で出力されるトラフィックの level1 の QoS 優先順位を含みますまたは、ターゲットの DSCP 値を定義する可能性があります。 QoS ポリシーは、契約またはサブジェクトのいずれかでサポートされます。

フィルタに matchDscp = 「Ef」条件があるため、このタグを持つトラフィックがコントラクト件名で指定されたキューを通して L3out プロセスにより受信できます。

- (注) L3out インターフェイスでの QOS またはカスタム QOS では VRF の適用は入力とします。 VRF の 適用を出力にする必要があるのは、 QOS 分類が EPG と L3out の間、または L3out から L3out への トラフィックの契約で実行される場合に限ります。
- (注) QOS 分類が契約で設定され、VRFの適用が出力である場合、契約 QOS 分類はL3out インターフェイス QOS またはカスタム QOS 分類をオーバーライドするため、これか新しいもののいずれかを設定する必要があります。

例:

REST API を使用した SR-MPLS カスタム QoS ポリシー

SR MPLS カスタム QoS ポリシーは、MPLS QoS 出力 ポリシーで定義された着信 MPLS EXP 値に基づいて、SR-MPLSネットワークから送信されるパケットのプライオリティを定義します。これらのパケットは、ACI ファブリック内にあります。また、MPLS QoS 出力ポリシーで定義された IPv4 DSCP 値に基づく MPLS インターフェイスを介して ACI ファブリックから離れるパケットの CoS 値および MPLS EXP 値をマーキングします。

カスタム出力ポリシーが定義されていない場合、デフォルトのQosレベル(Level3)がファブリック内のパケットに割り当てられます。カスタム出力ポリシーが定義されていない場合、デフォルトのEXP値(0)がファブリックから離れるパケットにマーキングされます。

ステップ1 SR-MPLS QoS ポリシーの作成

次のPOSTで、

- customgos1を、作成する SR-MPLS QoS ポリシーの名前に置き換えます。
- qosMplsIngressRuleの場合:
 - from = "2" to = "3"を、ポリシーに一致させる EXP 範囲に置き換えます。
 - prio = "level5"を ACI ファブリック内にあるパケットの ACI QoS レベルに置き換えます。
 - target = "CS5" は、パケットが一致したときに設定する DSCP 値に置き換えます。
 - targetCos = "4" を、パケットが一致したときにパケットに設定する CoS 値に置き換えます。
- qosMplsEgressRule の場合:
 - from = "CS2" to = "CS4" を、ポリシーを照合する DSCP 範囲に置き換えます。
 - targetExp = "5" を、パケットがファブリックを離れるときに設定する EXP 値に置き換えます。
 - targetCos = "3" を、パケットがファブリックを離れるときに設定する CoS 値に置き換えます。

ステップ2 SR-MPLS OoS ポリシーの作成

次の POST で、customqos1 を前の手順で作成した SR-MPLS QoS ポリシーの名前に置き換えます。

REST API を使用した ACI IP SLA の設定

REST API を使用した IP SLA モニタリング ポリシーの設定

REST API を使用して特定の SLA タイプのモニタリング プローブを送信できるようにするには、次の手順を実行します。 Cisco APIC

IP SLA モニタリング ポリシーの設定

例:

REST API を使用した IP-SLA トラック メンバーの設定

REST API を使用して IP SLA トラック メンバーを設定するには、次の手順を実行します。

IP SLA トラック メンバーを設定します。

例:

REST API を使用した IP-SLA トラック リストの設定

REST API を使用して IP SLA トラック リストを設定するには、次の手順を実行します。

IP SLA トラック リストを設定します。

REST API を使用したスタティック ルートとトラック リストの関連付け

REST API を使用して IP SLA トラック リストをスタティック ルートに関連付けるには、次の 手順を実行します。

IP SLA トラック リストをスタティック ルートに関連付けます。

例:

REST API を使用して ネクスト ホップ プロファイルのトラック リストに関連付けをする

REST API を使用して IP SLA トラック リストをネクスト ホップ プロファイルに関連付けるには、次の手順を実行します。

IP SLA トラック リストをネクスト ホップ プロファイルに関連付けます。

例

</ipRouteP>

REST API を使用した HSRP の設定

REST API を使用した APIC 内の HSRP の設定

リーフスイッチが設定されている場合、HSRPが有効になっています。

始める前に

- テナントおよび VRF を設定する必要があります。
- VLAN プールは、適切な VLAN 範囲が定義され、レイヤ 3 ドメインが作成されて VLAN プールに接続されている状態で設定される必要があります。
- ・エンティティプロファイルの接続も、レイヤ3ドメインに関連付けられている必要があります。
- リーフ スイッチのインターフェイス プロファイルは必要に応じて設定する必要があります。

ステップ1 ポートセレクタを作成します。

例:

```
<polUni>
  <infraInfra dn="uni/infra">
   <infraNodeP name="TenantNode 101">
      <infraLeafS name="leafselector" type="range">
        <infraNodeBlk name="nodeblk" from ="101" to ="101">
            </infraNodeBlk>
     </infraLeafS>
      <infraRsAccPortP tDn="uni/infra/accportprof-TenantPorts 101"/>
   </infraNodeP>
   <infraAccPortP name="TenantPorts 101">
      <infraHPortS name="portselector" type="range">
        <infraPortBlk name="portblk" fromCard="1" toCard="1" fromPort="41" toPort="41">
            </infraPortBlk>
        <infraRsAccBaseGrp tDn="uni/infra/funcprof/accportgrp-TenantPortGrp_101"/>
      </infraHPortS>
   </infraAccPortP>
   <infraFuncP>
      <infraAccPortGrp name="TenantPortGrp 101">
        <infraRsAttEntP tDn="uni/infra/attentp-AttEntityProfTenant"/>
        <infraRsHIfPol tnFabricHIfPolName="default"/>
     </infraAccPortGrp>
   </infraFuncP>
  </infraInfra>
</polUni>
```

ステップ2 テナントポリシーを作成します。

```
例:
```

```
<polUni>
  <fvTenant name="t9" dn="uni/tn-t9" descr="">
    <fvCtx name="t9 ctx1" pcEnfPref="unenforced">
    </fvCt.x>
    <fvBD name="t9 bd1" unkMacUcastAct="flood" arpFlood="yes">
      <fvRsCtx tnFvCtxName="t9 ctx1"/>
      <fvSubnet ip="101.9.1.1/24" scope="shared"/>
    </fvBD>
    <13extOut dn="uni/tn-t9/out-13extOut1" enforceRtctrl="export" name="13extOut1">
      <13extLNodeP name="Node101">
      <13extRsNodeL3OutAtt rtrId="210.210.121.121" rtrIdLoopBack="no" tDn="topology/pod-1/node-101"/>
      </l></l></l></l></l><
      <l3extRsEctx tnFvCtxName="t9 ctx1"/>
      <l3extRsL3DomAtt tDn="uni/13dom-dom1"/>
      <13extInstP matchT="AtleastOne" name="extEpg" prio="unspecified" targetDscp="unspecified">
        <13extSubnet aggregate="" descr="" ip="176.21.21.21/21" name="" scope="import-security"/>
      </l3extInstP>
    </13extOut>
  </fr></freeant>
</polUni>
例:
```

ステップ3 LLDP インターフェイス ポリシーを作成します。.

```
<polUni>
 <fvTenant name="t9" dn="uni/tn-t9" descr="">
   <hsrpIfPol name="hsrpIfPol" ctrl="bfd" delay="4" reloadDelay="11"/>
</polUni>
```

ステップ4 HSRP グループ ポリシーを作成します。.

例:

```
<polUni>
  <fvTenant name="t9" dn="uni/tn-t9" descr="">
   <hsrpIfPol name="hsrpIfPol" ctrl="bfd" delay="4" reloadDelay="11"/>
  </fvTenant>
</polUni>
```

ステップ5 HSRP インターフェイス プロファイルおよび HSRP グループ プロファイルを作成します。

例·

```
<polUni>
  <fvTenant name="t9" dn="uni/tn-t9" descr="">
   <13extOut dn="uni/tn-t9/out-13extOut1" enforceRtctrl="export" name="l3extOut1">
      <13extLNodeP name="Node101">
        <13extLIfP name="eth1-41-v6" ownerKey="" ownerTag="" tag="yellow-green">
          <hsrpIfP name="eth1-41-v6" version="v2">
            <hsrpRsIfPol tnHsrpIfPolName="hsrpIfPol"/>
            <hsrpGroupP descr="" name="HSRPV6-2" groupId="330" groupAf="ipv6" ip="fe80::3"</pre>
mac="00:00:0C:18:AC:01" ipObtainMode="admin">
              <hsrpRsGroupPol tnHsrpGroupPolName="G1"/>
            </hsrpGroupP>
          </hsrpIfP>
          <13extRsPathL3OutAtt addr="2002::100/64" descr="" encap="unknown" encapScope="local"
ifInstT="13-port" llAddr="::" mac="00:22:BD:F8:19:FF" mode="regular" mtu="inherit"
tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/41]" targetDscp="unspecified">
            <13extIp addr="2004::100/64"/>
```

```
</l3extRsPathL3OutAtt>
        <13extLIfP name="eth1-41-v4" ownerKey="" ownerTag="" tag="yellow-green">
          <hsrpIfP name="eth1-41-v4" version="v1">
           <hsrpRsIfPol tnHsrpIfPolName="hsrpIfPol"/>
           <hsrpGroupP descr="" name="HSRPV4-2" groupId="51" groupAf="ipv4" ip="177.21.21.21"</pre>
mac="00:00:0C:18:AC:01" ipObtainMode="admin">
             <hsrpRsGroupPol tnHsrpGroupPolName="G1"/>
           </hsrpGroupP>
         </hsrpIfP>
          <13extRsPathL3OutAtt addr="177.21.21.11/24" descr="" encap="unknown" encapScope="local"
ifInstT="13-port" 11Addr="::" mac="00:22:BD:F8:19:FF" mode="regular" mtu="inherit"
tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/41]" targetDscp="unspecified">
           <13extIp addr="177.21.23.11/24"/>
         </l3extRsPathL3OutAtt>
        </l3extLNodeP>
    </13ext.Out.>
  </fvTenant>
</polUni>
```

REST API を使用した Cisco ACI GOLF の設定

REST API を使用した GOLF の設定

手順の概要

- **1.** 次の例では、REST API を使用して GOLF のノードおよびスパイン スイッチ インターフェイスを展開する方法を示しています。
- 2. 次の XML で、スパイン スイッチ インターフェイスと GOLF サービスのインフラ テナント プロバイダを設定します。次の XML 構造を POST メッセージの本文に含めます。
- **3.** 次の XML で、GOLF サービスのインフラ部分のテナント コンシューマを設定します。次の XML 構造を POST メッセージの本文に含めます。

手順の詳細

ステップ1 次の例では、REST API を使用して GOLF のノードおよびスパイン スイッチ インターフェイスを展開する 方法を示しています。

例:

POST

https://192.0.20.123/api/mo/uni/golf.xml

ステップ2 次の XML で、スパイン スイッチ インターフェイスと GOLF サービスのインフラ テナント プロバイダを 設定します。次の XML 構造を POST メッセージの本文に含めます。

```
<13extOut descr="" dn="uni/tn-infra/out-golf" enforceRtctrl="export,import"
    name="golf"
    ownerKey="" ownerTag="" targetDscp="unspecified">
```

```
<l3extRsEctx tnFvCtxName="overlay-1"/>
<13extProvLbl descr="" name="golf"
     ownerKey="" ownerTag="" tag="yellow-green"/>
<13extLNodeP configIssues="" descr=""</pre>
     name="bLeaf" ownerKey="" ownerTag=""
     tag="yellow-green" targetDscp="unspecified">
     <13extRsNodeL3OutAtt rtrId="10.10.3.3" rtrIdLoopBack="no"</pre>
         tDn="topology/pod-1/node-111">
         <l3extInfraNodeP descr="" fabricExtCtrlPeering="yes" name=""/>
         <13extLoopBackIfP addr="10.10.3.3" descr="" name=""/>
     30utAtt>
     <l3extRsNodeL3OutAtt rtrId="10.10.3.4" rtrIdLoopBack="no"</pre>
         tDn="topology/pod-1/node-112">
     <13extInfraNodeP descr="" fabricExtCtrlPeering="yes" name=""/>
     <l3extLoopBackIfP addr="10.10.3.4" descr="" name=""/>
     </l></l></l></l></l><
     <l3extLIfP descr="" name="portIf-spine1-3"</pre>
         ownerKey="" ownerTag="" tag="yellow-green">
         <ospfIfP authKeyId="1" authType="none" descr="" name="">
           <ospfRsIfPol tnOspfIfPolName="ospfIfPol"/>
         </ospfIfP>
         <l3extRsNdIfPol tnNdIfPolName=""/>
         <13extRsIngressQosDppPol tnQosDppPolName=""/>
         <13extRsEgressQosDppPol tnQosDppPolName=""/>
         <l3extRsPathL3OutAtt addr="7.2.1.1/24" descr=""</pre>
            encap="vlan-4"
            encapScope="local"
            ifInstT="sub-interface"
            llAddr="::" mac="00:22:BD:F8:19:FF"
            mode="regular"
            mtu="1500"
            tDn="topology/pod-1/paths-111/pathep-[eth1/12]"
            targetDscp="unspecified"/>
      </l3extLIfP>
      <13extLIfP descr="" name="portIf-spine2-1"
          ownerKey=""
          ownerTag=""
          tag="yellow-green">
          <ospfIfP authKeyId="1"</pre>
               authType="none"
               descr=""
               name="">
               <ospfRsIfPol tnOspfIfPolName="ospfIfPol"/>
          </ospfIfP>
          <l3extRsNdIfPol tnNdIfPolName=""/>
          <13extRsIngressQosDppPol tnQosDppPolName=""/>
          <l3extRsEgressQosDppPol tnQosDppPolName=""/>
          <13extRsPathL3OutAtt addr="7.1.0.1/24" descr=""</pre>
               encap="vlan-4"
               encapScope="local"
               ifInstT="sub-interface"
               llAddr="::" mac="00:22:BD:F8:19:FF"
               mode="regular"
               mtu="9000"
               tDn="topology/pod-1/paths-112/pathep-[eth1/11]"
               targetDscp="unspecified"/>
       </l3extLIfP>
       <13extLIfP descr="" name="portif-spine2-2"
          ownerKey=""
          ownerTag=""
          tag="yellow-green">
          <ospfIfP authKeyId="1"</pre>
               authType="none" descr=""
               name="">
```

```
<ospfRsIfPol tnOspfIfPolName="ospfIfPol"/>
</ospfIfP>
<l3extRsNdIfPol tnNdIfPolName=""/>
<l3extRsIngressQosDppPol tnQosDppPolName=""/>
<13extRsEgressQosDppPol tnQosDppPolName=""/>
<13extRsPathL3OutAtt addr="7.2.2.1/24" descr=""</li>
      encap="vlan-4"
      encapScope="local"
      ifInstT="sub-interface"
             llAddr="::" mac="00:22:BD:F8:19:FF"
             mode="regular"
             mtu="1500"
             tDn="topology/pod-1/paths-112/pathep-[eth1/12]"
             targetDscp="unspecified"/>
</l3extLIfP>
<l3extLIfP descr="" name="portIf-spine1-2"</pre>
     ownerKey="" ownerTag="" tag="yellow-green">
     <ospfIfP authKeyId="1" authType="none" descr="" name="">
          <ospfRsIfPol tnOspfIfPolName="ospfIfPol"/>
     </ospfIfP>
     <l3extRsNdIfPol tnNdIfPolName=""/>
     <l3extRsIngressQosDppPol tnQosDppPolName=""/>
     <l3extRsEgressQosDppPol tnQosDppPolName=""/>
     <13extRsPathL3OutAtt addr="9.0.0.1/24" descr=""</pre>
      encap="vlan-4"
      encapScope="local"
      ifInstT="sub-interface"
           llAddr="::" mac="00:22:BD:F8:19:FF"
           mode="regular"
           mtu="9000"
           tDn="topology/pod-1/paths-111/pathep-[eth1/11]"
           targetDscp="unspecified"/>
</13ext.LTfP>
<13extLIfP descr="" name="portIf-spine1-1"</pre>
      ownerKey="" ownerTag="" tag="yellow-green">
      <ospfIfP authKeyId="1" authType="none" descr="" name="">
           <ospfRsIfPol tnOspfIfPolName="ospfIfPol"/>
      </ospfIfP>
      <13extRsNdIfPol tnNdIfPolName=""/>
      <13extRsIngressQosDppPol tnQosDppPolName=""/>
      <13extRsEgressQosDppPol tnQosDppPolName=""/>
      <13extRsPathL3OutAtt addr="7.0.0.1/24" descr=""</pre>
        encap="vlan-4"
        encapScope="local"
        ifInstT="sub-interface"
        llAddr="::" mac="00:22:BD:F8:19:FF"
        mode="regular"
        mtu="1500"
        tDn="topology/pod-1/paths-111/pathep-[eth1/10]"
             targetDscp="unspecified"/>
</l3extLIfP>
<bgpInfraPeerP addr="10.10.3.2"</pre>
   allowedSelfAsCnt="3"
   ctrl="send-com, send-ext-com"
   descr="" name="" peerCtrl=""
  peerT="wan"
   privateASctrl="" ttl="2" weight="0">
   <bgpRsPeerPfxPol tnBgpPeerPfxPolName=""/>
   <bqpAsP asn="150" descr="" name="aspn"/>
</bgpInfraPeerP>
<bgpInfraPeerP addr="10.10.4.1"</pre>
   allowedSelfAsCnt="3"
   ctrl="send-com, send-ext-com" descr="" name="" peerCtrl=""
  peerT="wan"
```

```
privateASctrl="" ttl="1" weight="0">
                <bgpRsPeerPfxPol tnBgpPeerPfxPolName=""/>
                <bgpAsP asn="100" descr="" name=""/>
              </bgpInfraPeerP>
              <bgpInfraPeerP addr="10.10.3.1"</pre>
                allowedSelfAsCnt="3"
               ctrl="send-com, send-ext-com" descr="" name="" peerCtrl=""
               peerT="wan"
               privateASctrl="" ttl="1" weight="0">
                <bgpRsPeerPfxPol tnBgpPeerPfxPolName=""/>
                <bgpAsP asn="100" descr="" name=""/>
             </bgpInfraPeerP>
       </l></l></l></l></l><
       <bgpRtTargetInstrP descr="" name="" ownerKey="" ownerTag="" rtTargetT="explicit"/>
       <l3extRsL3DomAtt tDn="uni/l3dom-l3dom"/>
       <13extInstP descr="" matchT="AtleastOne" name="golfInstP"</pre>
                prio="unspecified"
                 targetDscp="unspecified">
                 <fre><free=""/>
        </l3extInstP>
       <bgpExtP descr=""/>
        <ospfExtP areaCost="1"</pre>
               areaCtrl="redistribute, summary"
               areaId="0.0.0.1"
               areaType="regular" descr=""/>
</l3extOut>
```

ステップ3 次の XML で、GOLF サービスのインフラ部分のテナント コンシューマを設定します。次の XML 構造を POST メッセージの本文に含めます。

```
<frvTenant descr="" dn="uni/tn-pep6" name="pep6" ownerKey="" ownerTag="">
     <vzBrCP descr="" name="webCtrct"</pre>
          ownerKey="" ownerTag="" prio="unspecified"
          scope="global" targetDscp="unspecified">
          <vzSubj consMatchT="AtleastOne" descr=""</pre>
               name="http" prio="unspecified" provMatchT="AtleastOne"
               revFltPorts="yes" targetDscp="unspecified">
               <vzRsSubjFiltAtt directives="" tnVzFilterName="default"/>
          </vzSubj>
      </wzBrCP>
      <vzBrCP descr="" name="webCtrct-pod2"</pre>
           ownerKey="" ownerTag="" prio="unspecified"
           scope="global" targetDscp="unspecified">
           <vzSubj consMatchT="AtleastOne" descr=""</pre>
                name="http" prio="unspecified"
                provMatchT="AtleastOne" revFltPorts="yes"
                targetDscp="unspecified">
                <vzRsSubjFiltAtt directives=""</pre>
                       tnVzFilterName="default"/>
           </vzSubj>
       </vzBrCP>
       <fvCtx descr="" knwMcastAct="permit"
            name="ctx6" ownerKey="" ownerTag=""
            pcEnfDir="ingress" pcEnfPref="enforced">
            <bgpRtTargetP af="ipv6-ucast"</pre>
                  descr="" name="" ownerKey="" ownerTag="">
                  <bgpRtTarget descr="" name="" ownerKey="" ownerTag=""</pre>
                  rt="route-target:as4-nn2:100:1256"
                  type="export"/>
                  <bgpRtTarget descr="" name="" ownerKey="" ownerTag=""</pre>
                       rt="route-target:as4-nn2:100:1256"
```

```
type="import"/>
     </bgpRtTargetP>
     <bgpRtTargetP af="ipv4-ucast"</pre>
          descr="" name="" ownerKey="" ownerTag="">
          <bgpRtTarget descr="" name="" ownerKey="" ownerTag=""</pre>
               rt="route-target:as4-nn2:100:1256"
               type="export"/>
          <bgpRtTarget descr="" name="" ownerKey="" ownerTag=""</pre>
               rt="route-target:as4-nn2:100:1256"
               type="import"/>
     </bgpRtTargetP>
     <fvRsCtxToExtRouteTagPol tnL3extRouteTagPolName=""/>
     <fvRsBgpCtxPol tnBgpCtxPolName=""/>
     <vzAny descr="" matchT="AtleastOne" name=""/>
     <fvRsOspfCtxPol tnOspfCtxPolName=""/>
     <fvRsCtxToEpRet tnFvEpRetPolName=""/>
     <13extGlobalCtxName descr="" name="dci-pep6"/>
</fvCtx>
<fvBD arpFlood="no" descr="" epMoveDetectMode=""
     ipLearning="yes"
     \verb|limitIpLearnToSubnets="no"|
     llAddr="::" mac="00:22:BD:F8:19:FF"
     mcastAllow="no"
     multiDstPktAct="bd-flood"
     name="bd107" ownerKey="" ownerTag="" type="regular"
     unicastRoute="yes"
     unkMacUcastAct="proxy"
     unkMcastAct="flood"
     vmac="not-applicable">
     <fvRsBDToNdP tnNdIfPolName=""/>
     <fre><fvRsBDToOut tnL3extOutName="routAccounting-pod2"/>
     <fvRsCtx tnFvCtxName="ctx6"/>
     <\!fvRsIgmpsn\ tnIgmpSnoopPolName=""/>
     <fvSubnet ctrl="" descr="" ip="27.6.1.1/24"
          name="" preferred="no"
          scope="public"
          virtual="no"/>
          <fvSubnet ctrl="nd" descr="" ip="2001:27:6:1::1/64"</pre>
               name="" preferred="no"
               scope="public"
               virtual="no">
               <fvRsNdPfxPol tnNdPfxPolName=""/>
          </fvSubnet>
          <fvRsBdToEpRet resolveAct="resolve" tnFvEpRetPolName=""/>
</fvBD>
<fvBD arpFlood="no" descr="" epMoveDetectMode=""
     ipLearning="yes"
     limitIpLearnToSubnets="no"
     llAddr="::" mac="00:22:BD:F8:19:FF"
     mcastAllow="no"
     multiDstPktAct="bd-flood"
     name="bd103" ownerKey="" ownerTag="" type="regular"
     unicastRoute="yes"
     unkMacUcastAct="proxy"
     unkMcastAct="flood"
     vmac="not-applicable">
     <fvRsBDToNdP tnNdIfPolName=""/>
     <fre><fre RsBDToOut tnL3extOutName="routAccounting"/>
     <fvRsCtx tnFvCtxName="ctx6"/>
     <fvRsIgmpsn tnIgmpSnoopPolName=""/>
     <fvSubnet ctrl="" descr="" ip="23.6.1.1/24"
          name="" preferred="no"
          scope="public"
          virtual="no"/>
```

```
<fvSubnet ctrl="nd" descr="" ip="2001:23:6:1::1/64"
          name="" preferred="no"
          scope="public" virtual="no">
          <fre><fvRsNdPfxPol tnNdPfxPolName=""/>
     </fvSubnet>
     <fvRsBdToEpRet resolveAct="resolve" tnFvEpRetPolName=""/>
</fvBD>
<vnsSvcCont/>
<fvRsTenantMonPol tnMonEPGPolName=""/>
<fra>fvAp descr="" name="AP1"
     ownerKey="" ownerTag="" prio="unspecified">
     <fvAEPg descr=""
          isAttrBasedEPg="no"
          matchT="AtleastOne"
          name="epg107"
          pcEnfPref="unenforced" prio="unspecified">
          <fre><fvRsCons prio="unspecified"</pre>
               tnVzBrCPName="webCtrct-pod2"/>
          <fvRsPathAtt descr=""
               encap="vlan-1256"
               instrImedcy="immediate"
               mode="regular" primaryEncap="unknown"
               tDn="topology/pod-2/paths-107/pathep-[eth1/48]"/>
          <fvRsDomAtt classPref="encap" delimiter=""
               encap="unknown"
               instrImedcy="immediate"
               primaryEncap="unknown"
               resImedcy="lazy" tDn="uni/phys-phys"/>
          <fvRsCustQosPol tnQosCustomPolName=""/>
          <fvRsBd tnFvBDName="bd107"/>
          <fre><fvRsProv matchT="AtleastOne"</pre>
               prio="unspecified"
               tnVzBrCPName="default"/>
     </fvAEPg>
     <fvAEPg descr=""
          isAttrBasedEPg="no"
          matchT="AtleastOne"
          name="epg103"
          pcEnfPref="unenforced" prio="unspecified">
          <fvRsCons prio="unspecified" tnVzBrCPName="default"/>
          <fvRsCons prio="unspecified" tnVzBrCPName="webCtrct"/>
          <fvRsPathAtt descr="" encap="vlan-1256"
               instrImedcy="immediate"
               mode="regular" primaryEncap="unknown"
               tDn="topology/pod-1/paths-103/pathep-[eth1/48]"/>
               <fvRsDomAtt classPref="encap" delimiter=""
                    encap="unknown"
                    instrImedcy="immediate"
                    primaryEncap="unknown"
                     resImedcy="lazy" tDn="uni/phys-phys"/>
               <fre><fvRsCustQosPol tnQosCustomPolName=""/>
               <fvRsBd tnFvBDName="bd103"/>
     </fvAEPg>
</fvAp>
<13extOut descr=""
     enforceRtctrl="export"
     name="routAccounting-pod2"
     ownerKey="" ownerTag="" targetDscp="unspecified">
     <13extRsEctx tnFvCtxName="ctx6"/>
     <13extInstP descr=""
          matchT="AtleastOne"
          name="accountingInst-pod2"
          prio="unspecified" targetDscp="unspecified">
     <13extSubnet aggregate="export-rtctrl,import-rtctrl"</pre>
```

```
descr="" ip="::/0" name=""
                 scope="export-rtctrl,import-rtctrl,import-security"/>
            <l3extSubnet aggregate="export-rtctrl,import-rtctrl"</pre>
                 descr=""
                 ip="0.0.0.0/0" name=""
                 scope="export-rtctrl,import-rtctrl,import-security"/>
            <fre><fvRsCustQosPol tnQosCustomPolName=""/>
            <fvRsProv matchT="AtleastOne"
                 prio="unspecified" tnVzBrCPName="webCtrct-pod2"/>
            </l3extInstP>
            <13extConsLbl descr=""
                 name="golf2"
                 owner="infra"
                 ownerKey="" ownerTag="" tag="yellow-green"/>
       </l3extOut>
       <13extOut descr=""
            enforceRtctrl="export"
            name="routAccounting"
            ownerKey="" ownerTag="" targetDscp="unspecified">
            <13extRsEctx tnFvCtxName="ctx6"/>
            <13extInstP descr=""
                 matchT="AtleastOne"
                 name="accountingInst"
                 prio="unspecified" targetDscp="unspecified">
            <13extSubnet aggregate="export-rtctrl, import-rtctrl" descr=""
                 ip="0.0.0.0/0" name=""
                 scope="export-rtctrl,import-rtctrl,import-security"/>
            <fvRsCustQosPol tnQosCustomPolName=""/>
            <frvRsProv matchT="AtleastOne" prio="unspecified" tnVzBrCPName="webCtrct"/>
            </13extInstP>
            <13extConsLbl descr=""
                 name="golf"
                 owner="infra"
                 ownerKey="" ownerTag="" tag="yellow-green"/>
       </l3extOut>
</fvTenant>
```

REST API を使用した DCIG への BGP EVPN タイプ 2 ホスト ルート配信の有効化

次のように REST API を使用して、BGP EVPN タイプ 2 ホストルートの配信を有効にします。

始める前に

EVPN サービスを設定する必要があります。

ステップ1 次の例のように、XMLが含まれている POSTで、ホストルートリークポリシーを設定します。

例:

<bgpCtxAfPol descr="" ctrl="host-rt-leak" name="bgpCtxPol 0 status=""/>

ステップ2 次の例のように、XML が含まれている POST を使用してアドレス ファミリの一方または両方の VRF BGP アドレス ファミリ コンテキスト ポリシーに、ポリシーを適用します。

REST API を使用してタスクを実行する

```
<fvCtx name="vni-10001">
<fvRsCtxToBgpCtxAfPol af="ipv4-ucast" tnBgpCtxAfPolName="bgpCtxPol_0"/>
<fvRsCtxToBgpCtxAfPol af="ipv6-ucast" tnBgpCtxAfPolName="bgpCtxPol_0"/>
</fvCtx>
```

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。